

宮城県医療的ケア児等状況調査結果

令和6年11月22日

宮城県保健福祉部精神保健推進室

調査の背景

- 令和4～5年度、市町村対象調査にて医療的ケア児者数を把握。

昨年度の医療的ケア児等支援検討会議において、

- ・ 調査結果以上の医療的ケア児の存在の可能性
- ・ 特に福祉制度の利用のない0～3歳の存在の可能性
- ・ 医療機関対象調査で人数把握の精度が高まる可能性の意見あり。

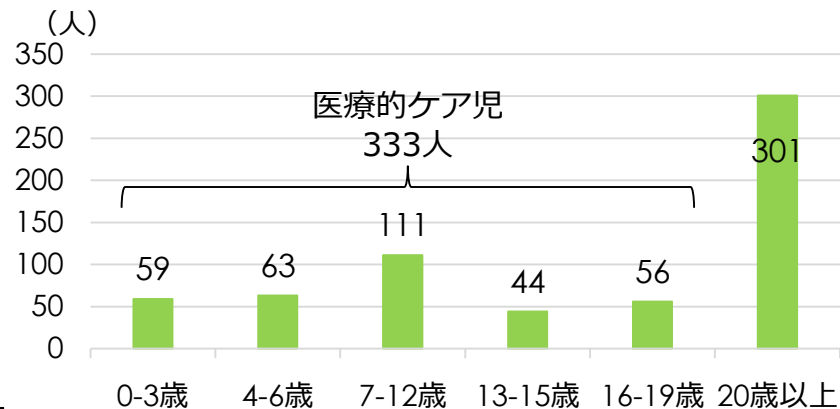


図1 令和5年度医療的ケア児等実態調査結果（年齢別人数）

- より精度の高い実態把握とするため、令和6年度は、医療機関・市町村 を対象に調査を実施。

調査概要

目的


医療的ケア児者の人数や必要とする医療的ケア、受療状況や社会保障制度等の利用実態等を明らかにし、医療的ケア児者の実態に応じた支援施策の検討の基礎資料とする。

調査対象機関

(1) 県内の小児中核病院等 12病院

 小児中核病院 2病院

 小児地域医療センター 7病院

 小児地域支援病院 3病院

(2) 県内市町村 35市町村

調査対象者

県内在住の医療的ケア児者

調査期間

令和6年8月5日から
令和6年10月4日まで

調査対象者 年齢基準日

令和6年4月1日

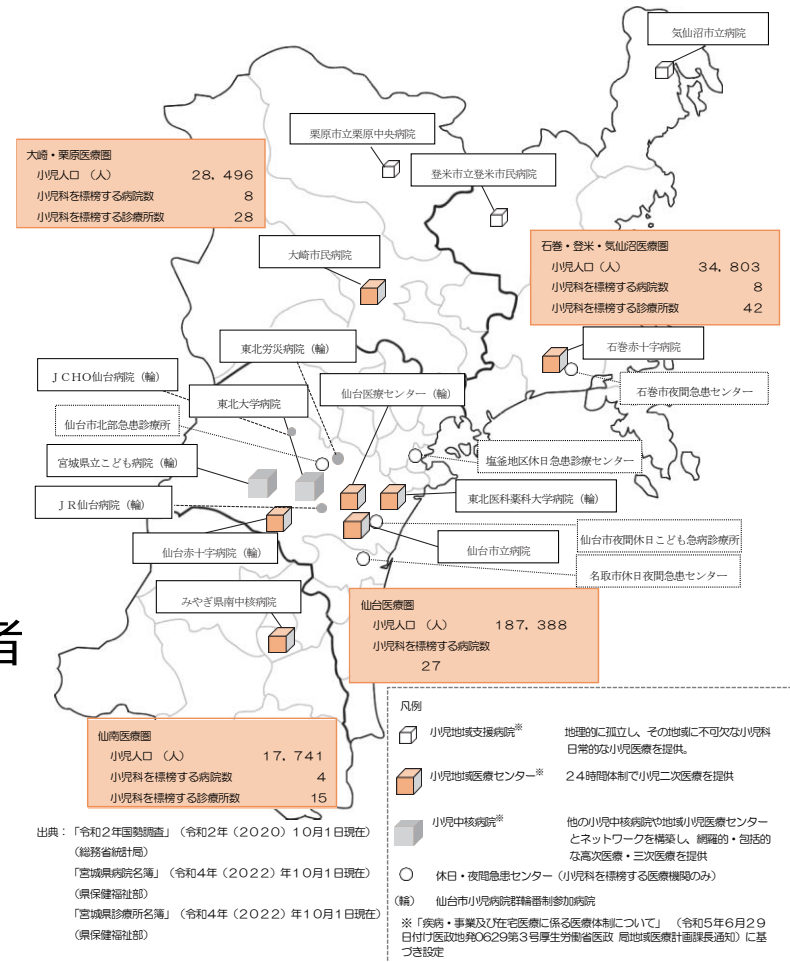


図2 第8次宮城県地域医療計画
【図表5-2-11-9】小児医療提供体制

調査の対象と調査項目

医療的ケア判定スコアに該当する医療的ケアを要する児者について調査。

項目		調査対象機関	
		小児中核病院等 (12病院)	市町村 (35市町村)
調査対象	児 (18歳未満)	在宅療養指導管理料算定患者 (R5.4.1～R6.4.1)	把握している児者 (R6.4.1現在)
	者 (18歳以上)	調査対象外	
調査項目	共通	イニシャル、年齢、性別、居住市町村、必要な医療的ケア	
	対象機関別	連携医療機関名	社会保障制度等 ・身体障害者手帳・療育手帳有無、等級 ・障害福祉サービス・障害児通所支援事業所利用有無 ・障害福祉サービス等利用計画有無 ・在宅・入所の別 ・災害時避難行動要支援者名簿掲載有無 ・災害時個別避難計画作成有無

回答状況

回答率

小児中核病院等及び市町村の全調査対象機関から回答あり
(回答率100%)

回答人数

(1) 小児中核病院等	児 (18歳未満)	781人
(2) 市町村	児 (18歳未満)	335人
	者 (18歳以上)	457人
	児者計	792人

※県内市町村に居住する者、児は18歳未満・者は18歳以上を有効回答とした。

回答の取扱い

今後、医療機関からの回答内容を、医療的ケア児居住市町村へ情報提供。
市町村における医療的ケア児把握や支援体制整備に活用いただく。

表1 医療機関所在医療圏・居住圏域別人数

居住圏域 医療圏	仙南	仙台※	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	計
仙南	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台	50	146	56	8	30	65	14	401	770
大崎・栗原	0	0	0	2	1	0	0	0	3
石巻・登米 ・気仙沼	0	0	0	0	0	0	8	0	8
計	50	146	56	10	31	65	22	401	781
(仙台医療圏再掲)									
東北大学病院	13	49	22	5	7	28	5	134	263
県立こども病院	29	83	30	3	20	35	9	229	438
上記2病院以外	8	14	4	0	3	2	0	38	69

※ 仙台市を除く仙台圏域（塩釜・岩沼・黒川）

- ・ 仙台医療圏の医療機関が全回答数の**98.6%**の医療的ケア児を診療。
- ・ 仙台医療圏の中でも小児中核医療機関（東北大学病院、県立こども病院）の診療が多い。

年齢別・年齢階級別人数

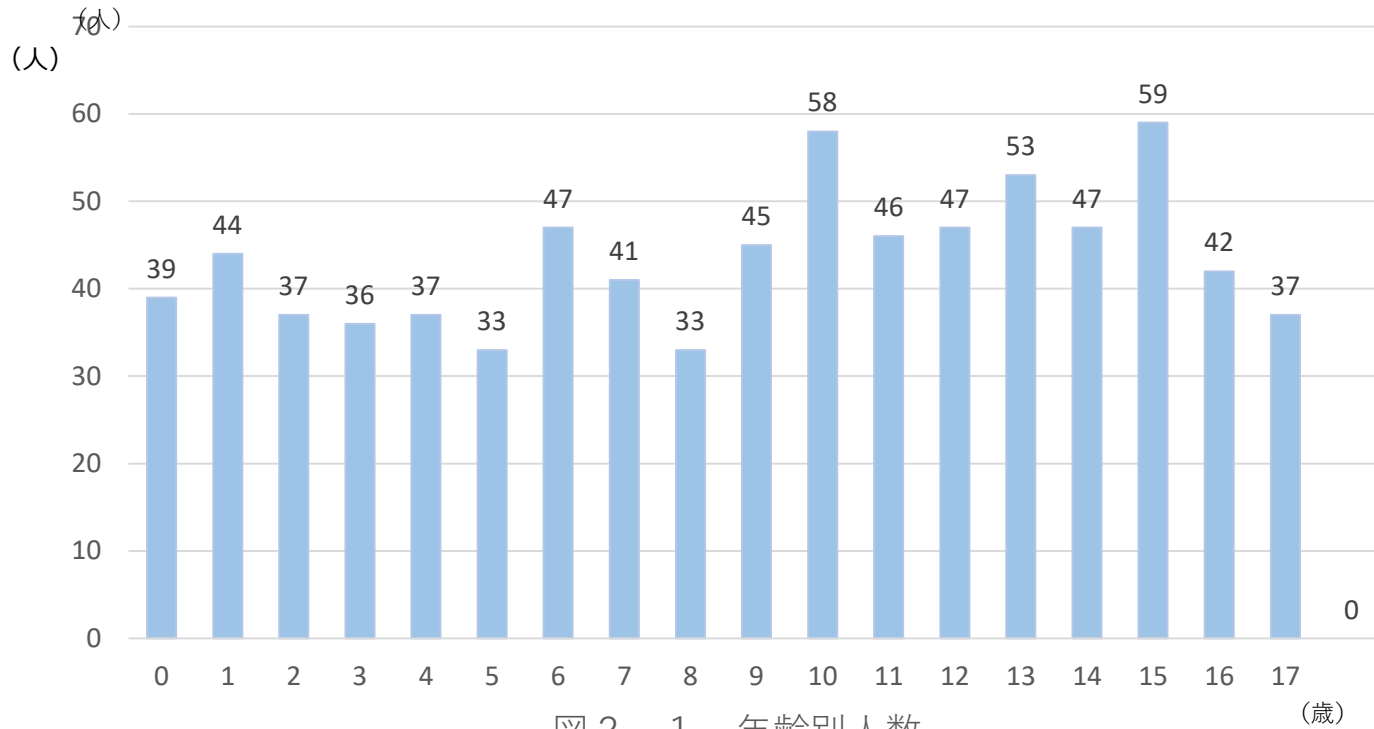


図 2 - 1 年齢別人数

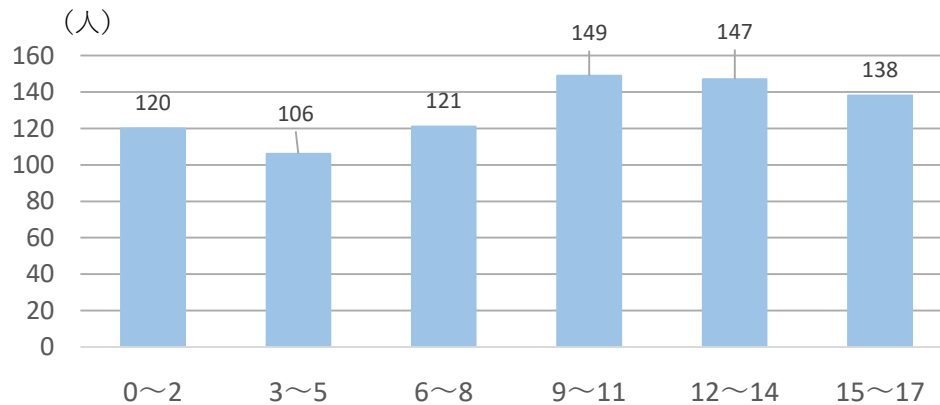


図 2 - 2 年齢階級別 (3歳階級) 人数 (歳)

必要な医療的ケア（医療機関所在医療圏別）

表2 医療機関所在医療圏別必要な医療的ケア

医療圏	(人)													
	①人工呼吸器の管理	②気管切開の管理	③鼻咽頭エアウェイの管理	④酸素療法	⑤吸引（口鼻腔・気管内吸引）	⑥ネブライザーの管理	⑦経管栄養	⑧中心静脈カテーテルの管理	⑨皮下注射	⑩血糖測定	⑪継続的な透析	⑫導尿	⑬排便管理	⑭痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与 迷走神経刺激装置の作動等の処置
仙南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台	74	83	2	263	154	126	198	7	348	122	4	74	131	81
大崎・栗原	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0
石巻・登米 ・気仙沼	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0
計	74	83	2	264	154	126	198	7	357	124	4	75	131	81

・皮下注射、酸素療法、経管栄養の順に多い。

必要な医療的ケア（医療機関所在医療圏別）

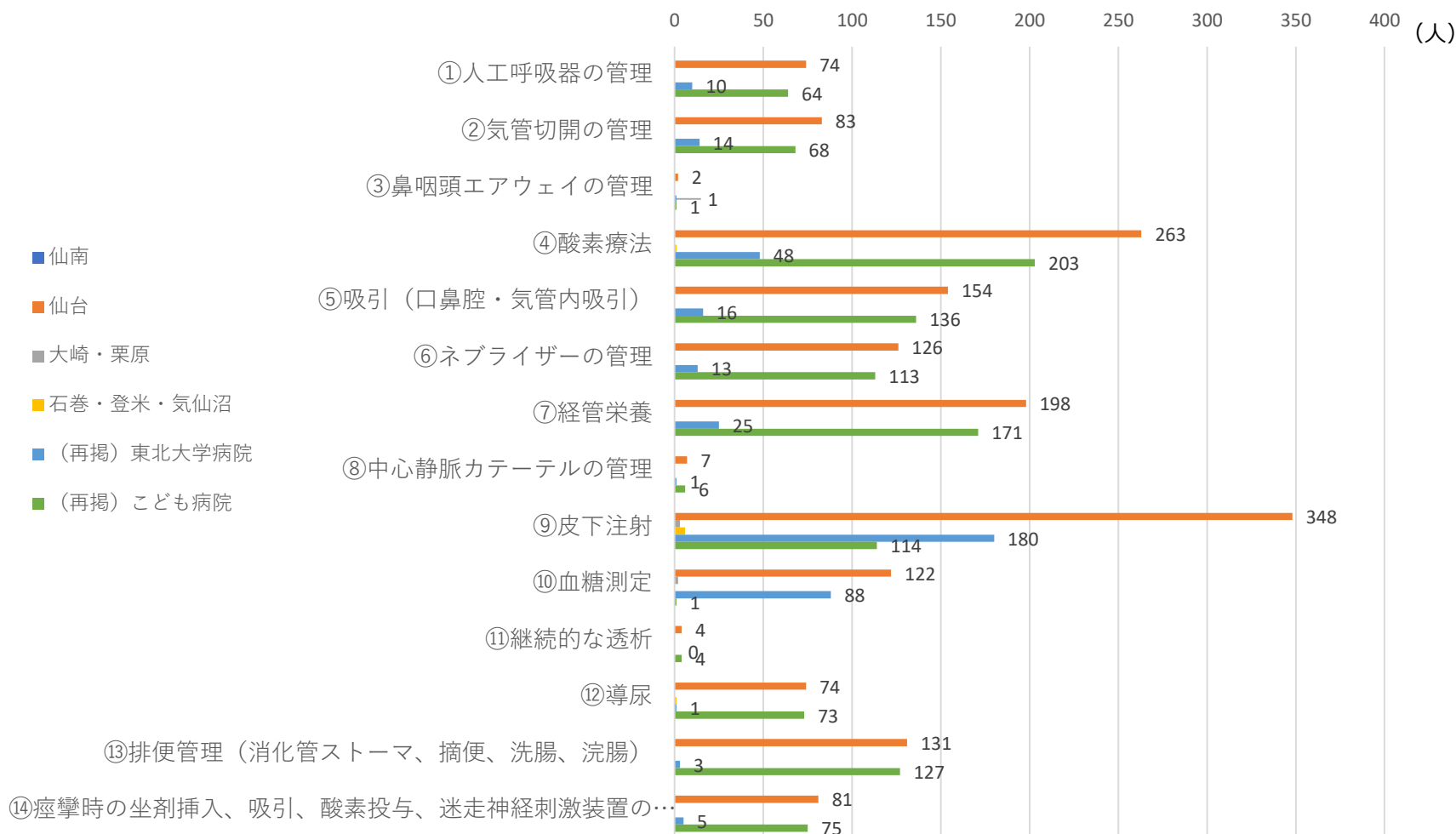


図3 医療機関所在医療圏別必要な医療的ケア（小児中核病院再掲）

・東北大学病院では皮下注射の方、県立こども病院では酸素療法の方が最も多い。

連携医療機関の状況

表3 連携医療機関と医療的ケア児の居住圏域

回答医療機関 (所在医療圏)	連携先医療機関 (所在医療圏)					
	病院A (仙台)	病院E (仙台)	病院F (仙台)	病院G (仙台)	病院H (大崎・栗原)	病院I (石巻・登米 ・気仙沼)
病院A (仙台)	—	仙台 (1) 仙台市 (1)	—	仙台 (1)	大崎 (1)	石巻 (4) 登米 (1)
病院B (仙台)	—	仙台 (1) 仙台市 (1)	仙台市 (1)	—	大崎 (1)	—
病院C (大崎・栗原)	栗原 (1)	登米 (1)	—	—	—	—
病院D (石巻・登米 ・気仙沼)	—	気仙沼 (1)	—	—	—	気仙沼 (1)

※ 回答数は781人中17人

※ 括弧内は人数

医療的ケア児者数

表4-1 医療的ケア児者数（人）

区分	仙南	仙台※	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	計
医療的ケア児 (18歳未満)	23	93	28	5	18	29	9	130	335
医療的ケア者 (18歳以上)	18	65	26	10	24	2	5	307	457
計	41	158	54	15	42	31	14	437	792

※ 仙台市を除く仙台圏域（塩釜・岩沼・黒川）

表4-2 男女別人数（人）

区分	男	女	計
医療的ケア児 (18歳未満)	167	168	335
医療的ケア者 (18歳以上)	264	193	457
計	431	361	792

全圏域に居住し、
前回調査結果（634名）を
上回る人数であった。

年齢別・年齢階級別人数

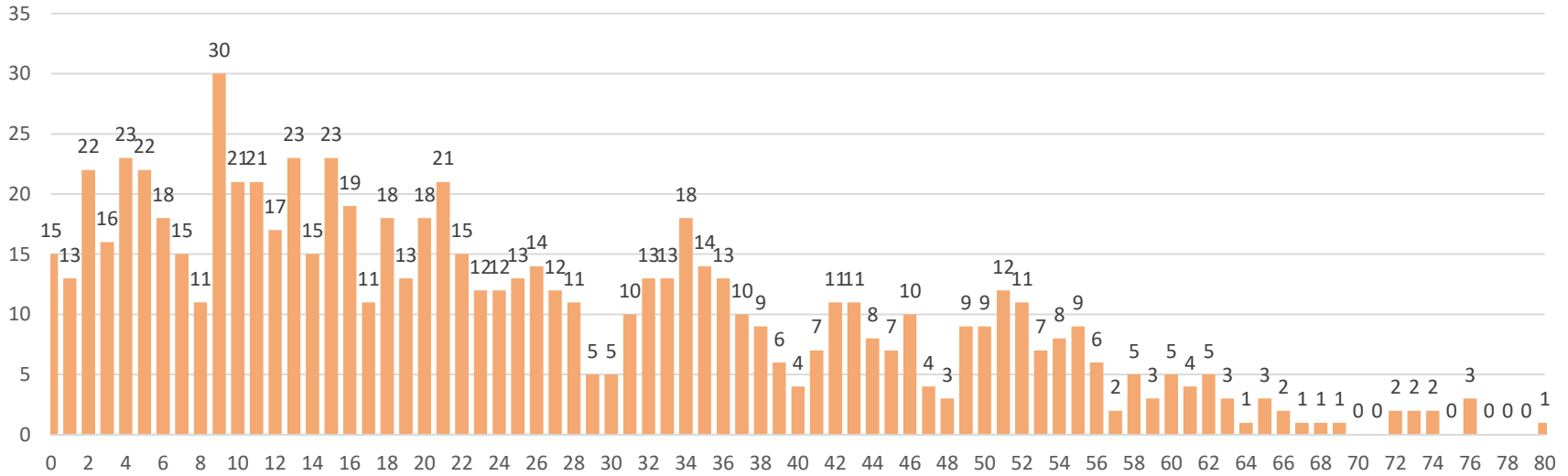


図4-1 年齢別人数 (人)

表5-1 年齢階級別人数 (児)

年齢階級	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	計
人数	50	61	44	72	55	53	335

表5-2 年齢階級別人数 (者)

年齢階級	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	計
人数	31	133	111	74	72	36	457

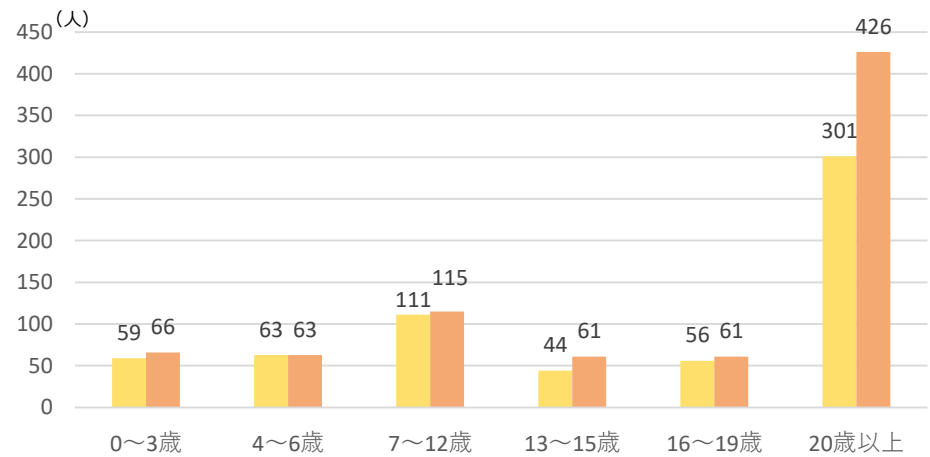


図4-2 前回調査との比較 R5調査 R6調査

必要な医療的ケア

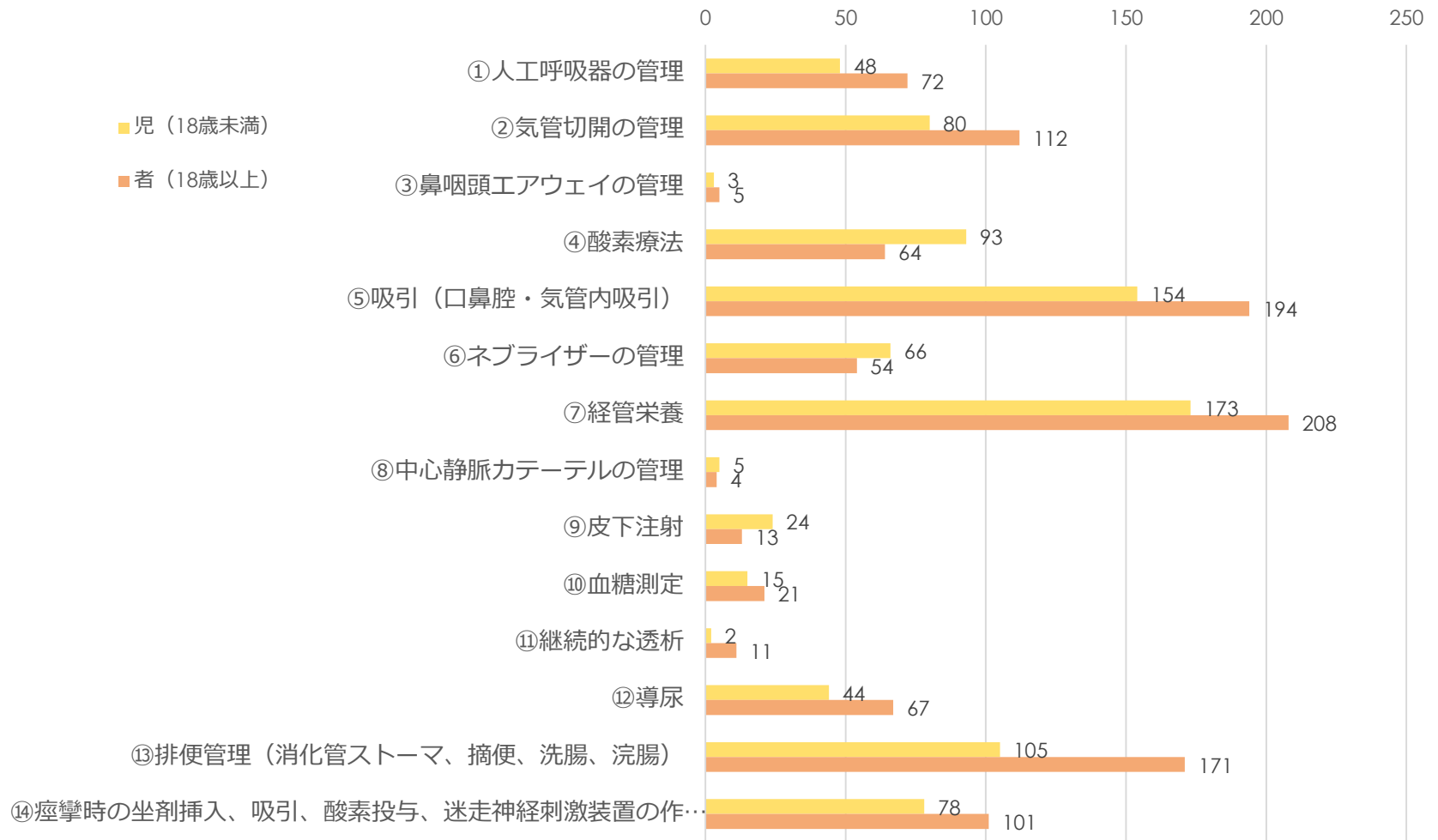


図5 必要な医療的ケア

・経管栄養、吸引（口鼻腔・気管内）、排便管理の順に多い。

身体障害者手帳所持状況(児者)

表6 身体障害者手帳所持状況 (人)

	1・2級	割合	3～6級	割合	無	割合	計	割合
児	244	30.8%	16	2.0%	75	9.5%	335	42.3%
者	386	48.7%	22	2.8%	49	6.2%	457	57.7%
計	630	79.5%	38	4.8%	124	15.7%	792	100.0%

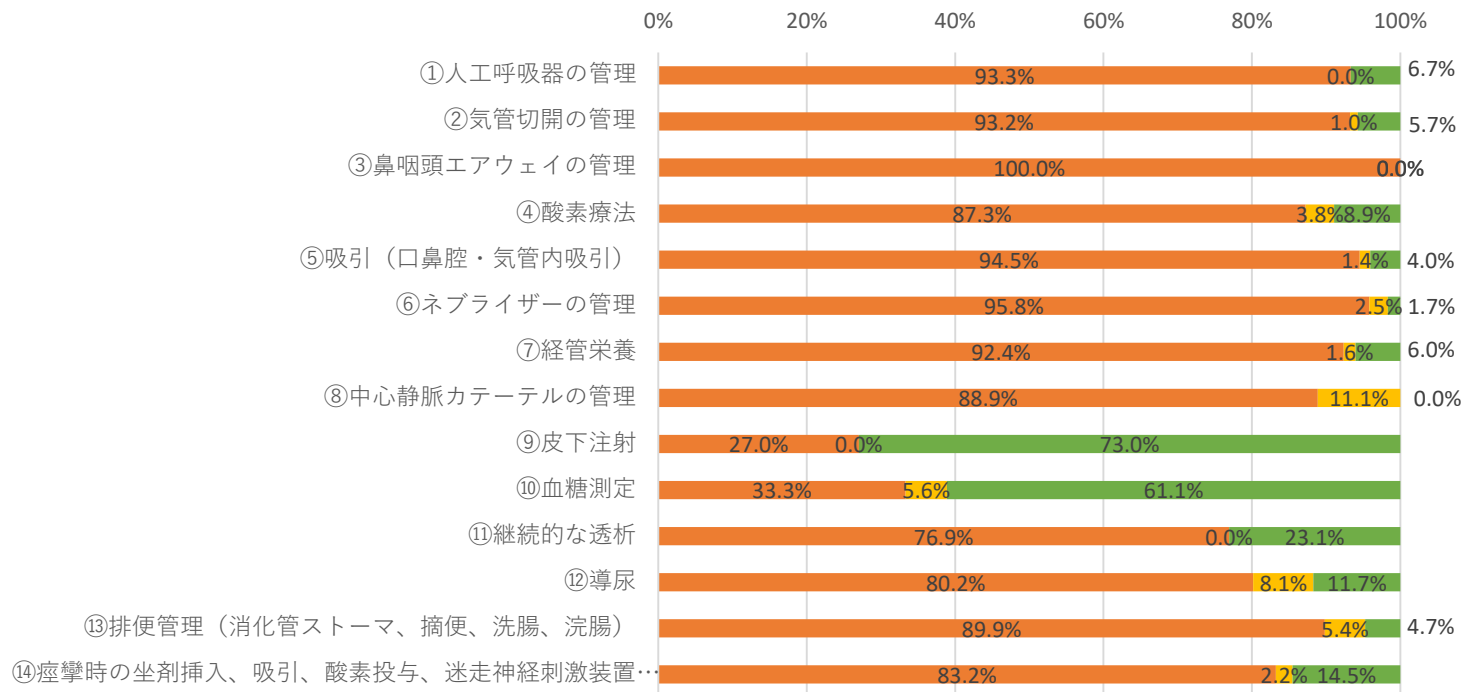


図6-1 必要な医療的ケアと身体障害者手帳所持状況

■ 1・2級
■ 3～6級
■ 無

身体障害者手帳所持状況(児)

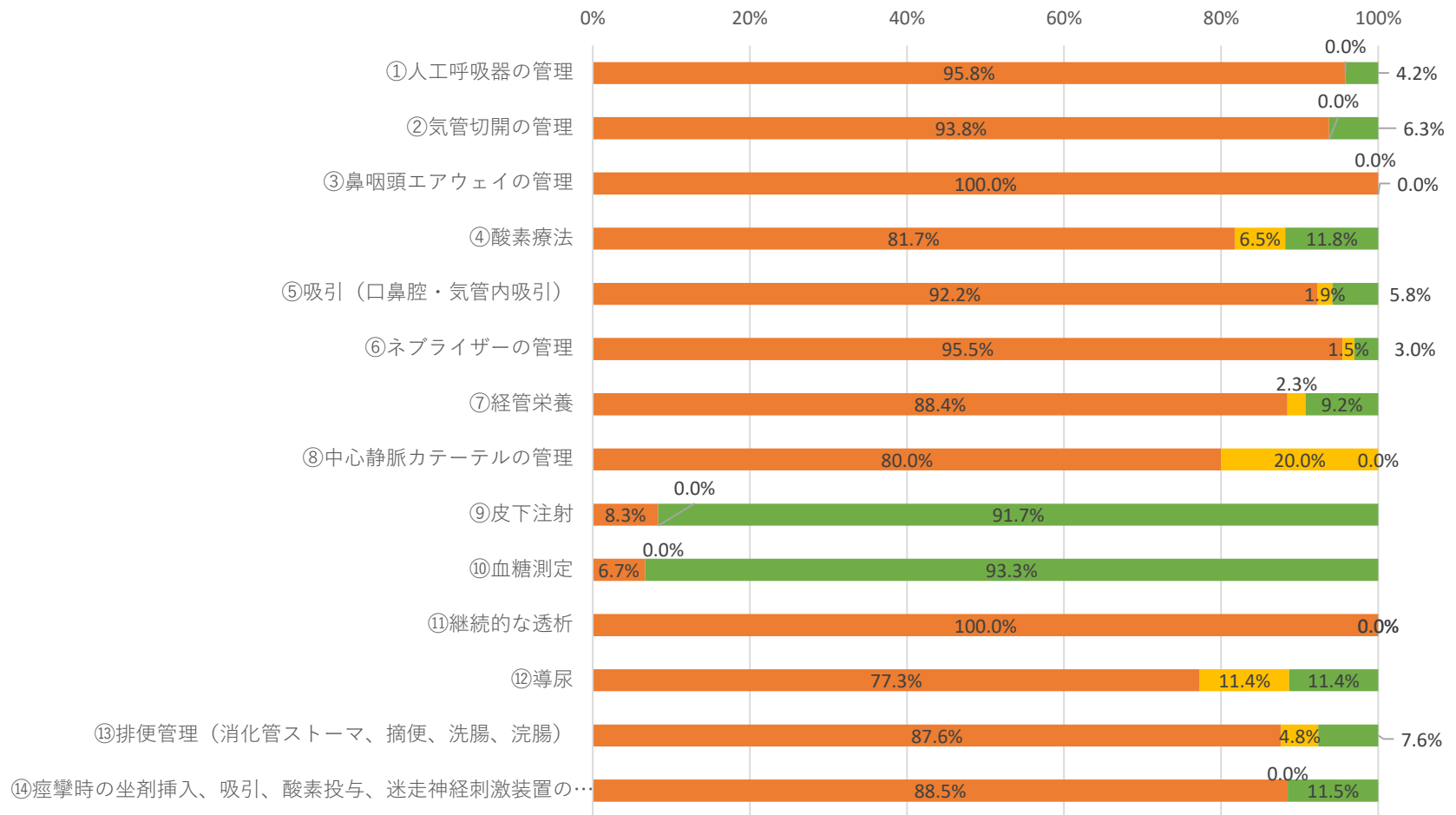


図6-2 必要な医療的ケアと身体障害者手帳所持状況(児)

■ 1・2級
■ 3～6級
■ 無

身体障害者手帳所持状況(者)

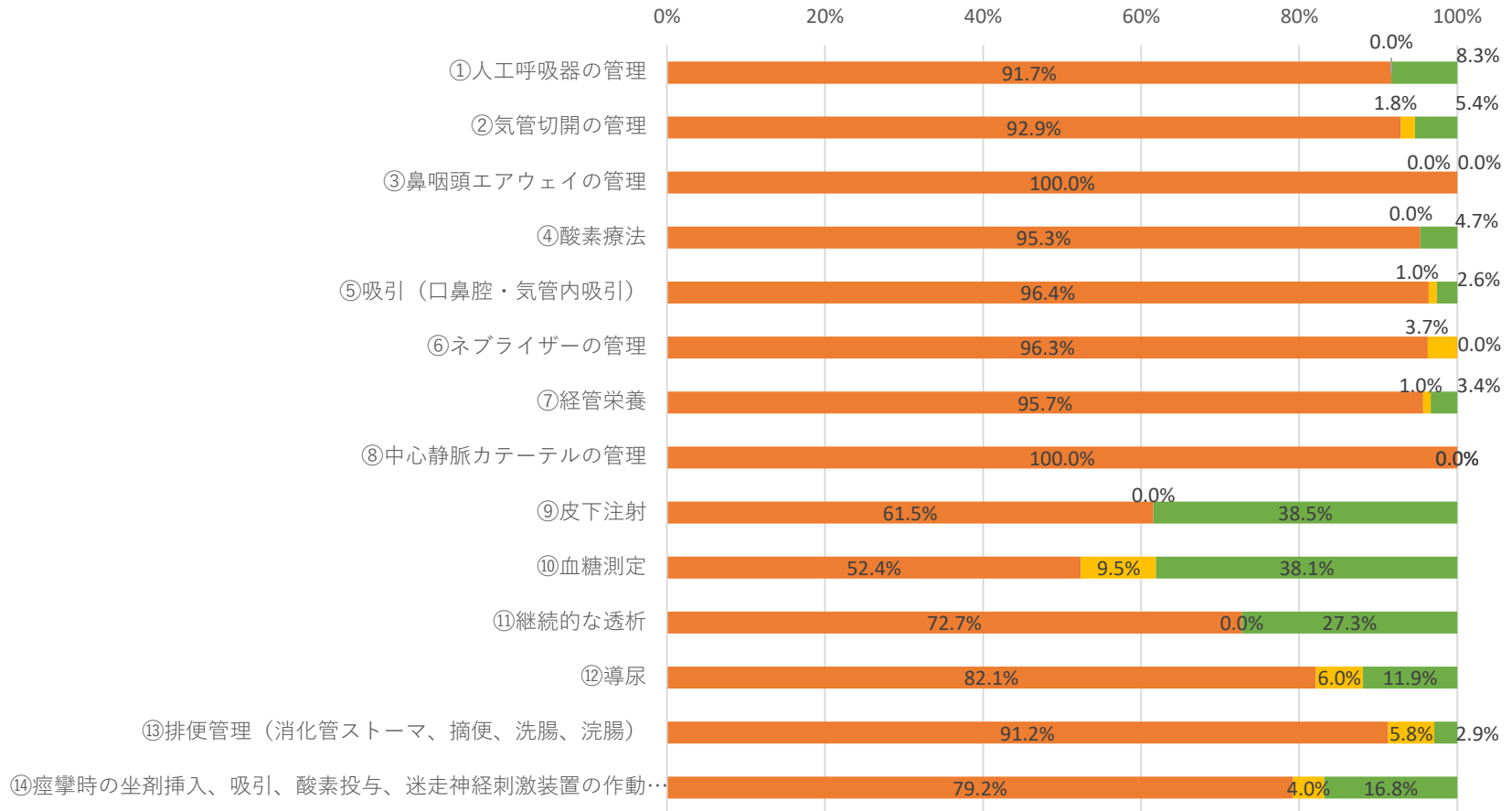


図6-3 必要な医療的ケアと身体障害者手帳所持状況（者）

■ 1・2級
 ■ 3～6級
 ■ 無

療育手帳所持状況(児者)

表7 療育手帳所持状況(人)

	A 割合	B 割合	無 割合	計 割合
児	135 17.0%	18 2.3%	182 23.0%	335 42.3%
者	320 40.4%	19 2.4%	118 14.9%	457 57.7%
計	455 57.4%	37 4.7%	300 37.9%	792 100.0%

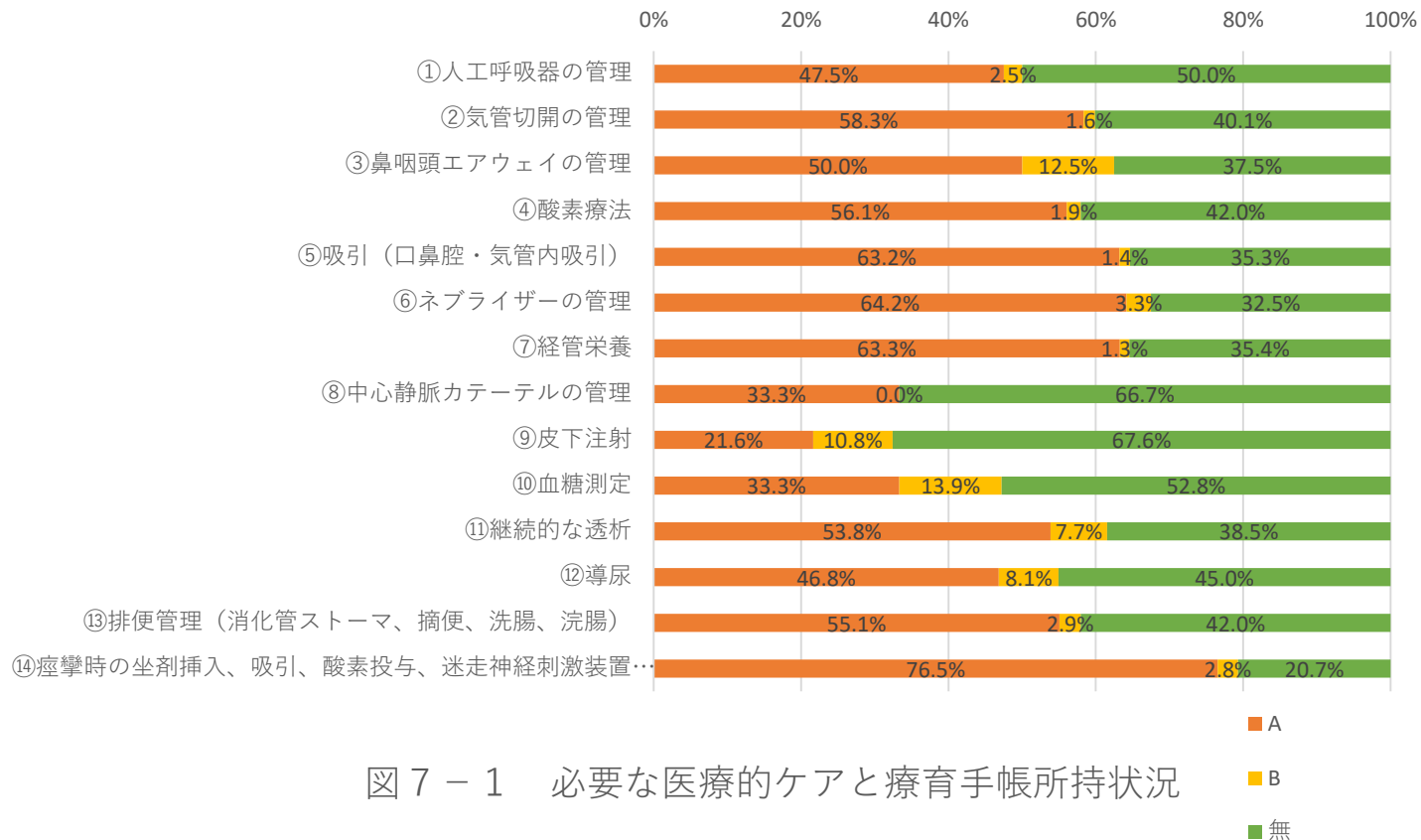


図7-1 必要な医療的ケアと療育手帳所持状況

療育手帳所持状況(児)

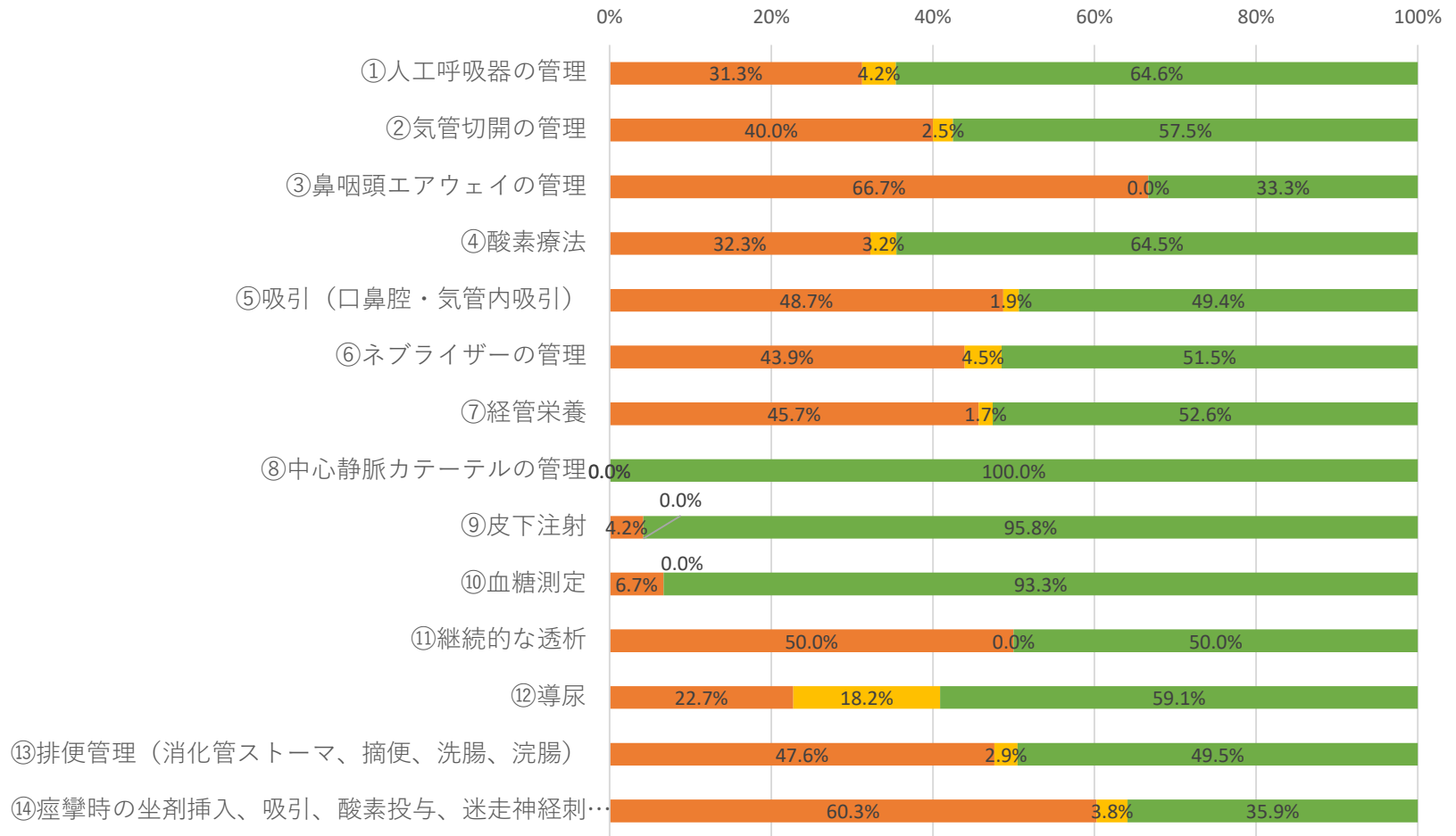


図7-2 必要な医療的ケアと療育手帳所持状況（児）

■ A
■ B
■ 無

療育手帳所持状況（者）

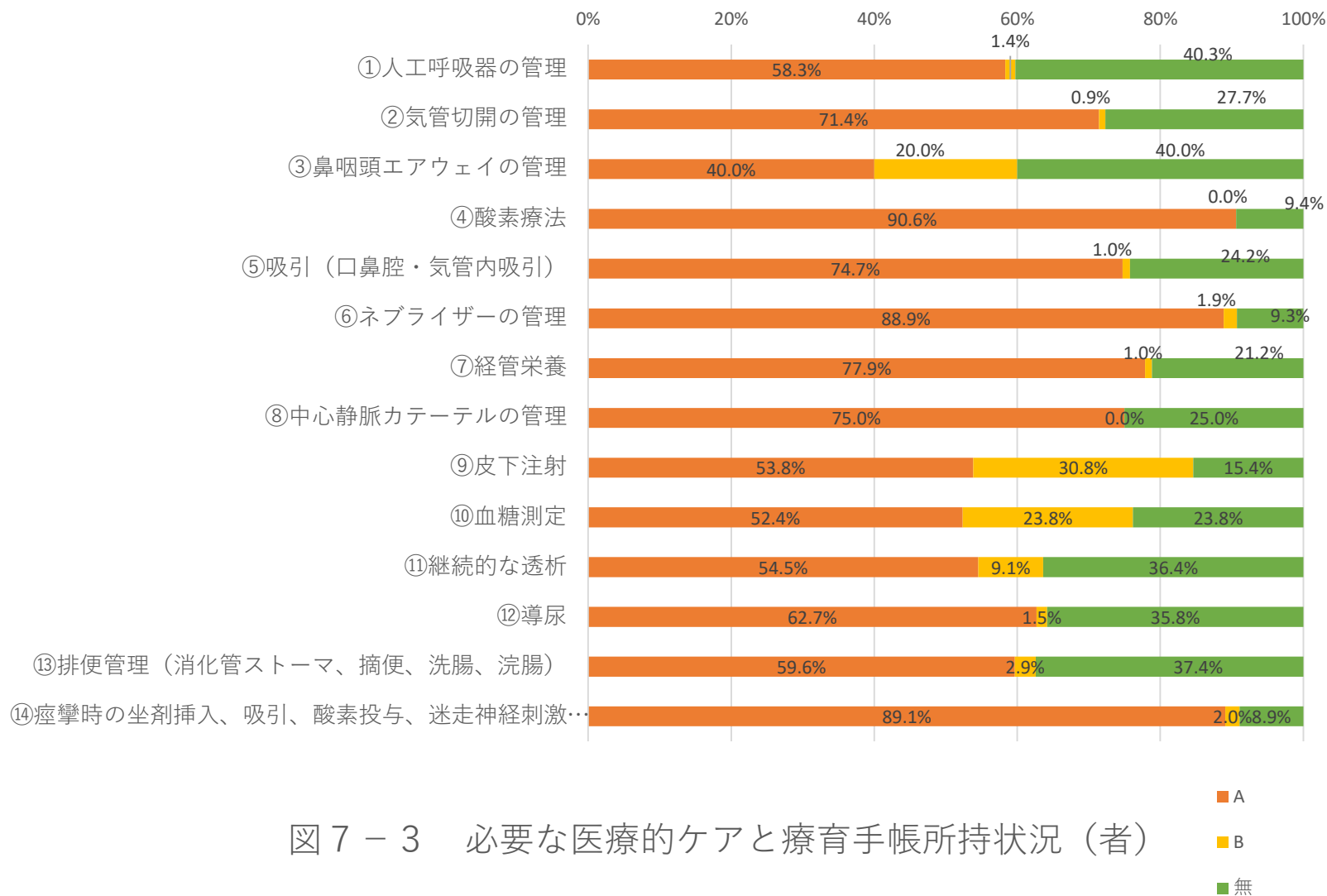


図7-3 必要な医療的ケアと療育手帳所持状況（者）

障害福祉サービス利用状況(児者)

表8 障害福祉サービス利用状況(人)

	有	割合	無	割合	不明	割合	計	割合
児	182	23.0%	121	15.3%	32	4.0%	335	42.3%
者	354	44.7%	29	3.7%	74	9.3%	457	57.7%
計	536	67.7%	150	18.9%	106	13.4%	792	100.0%

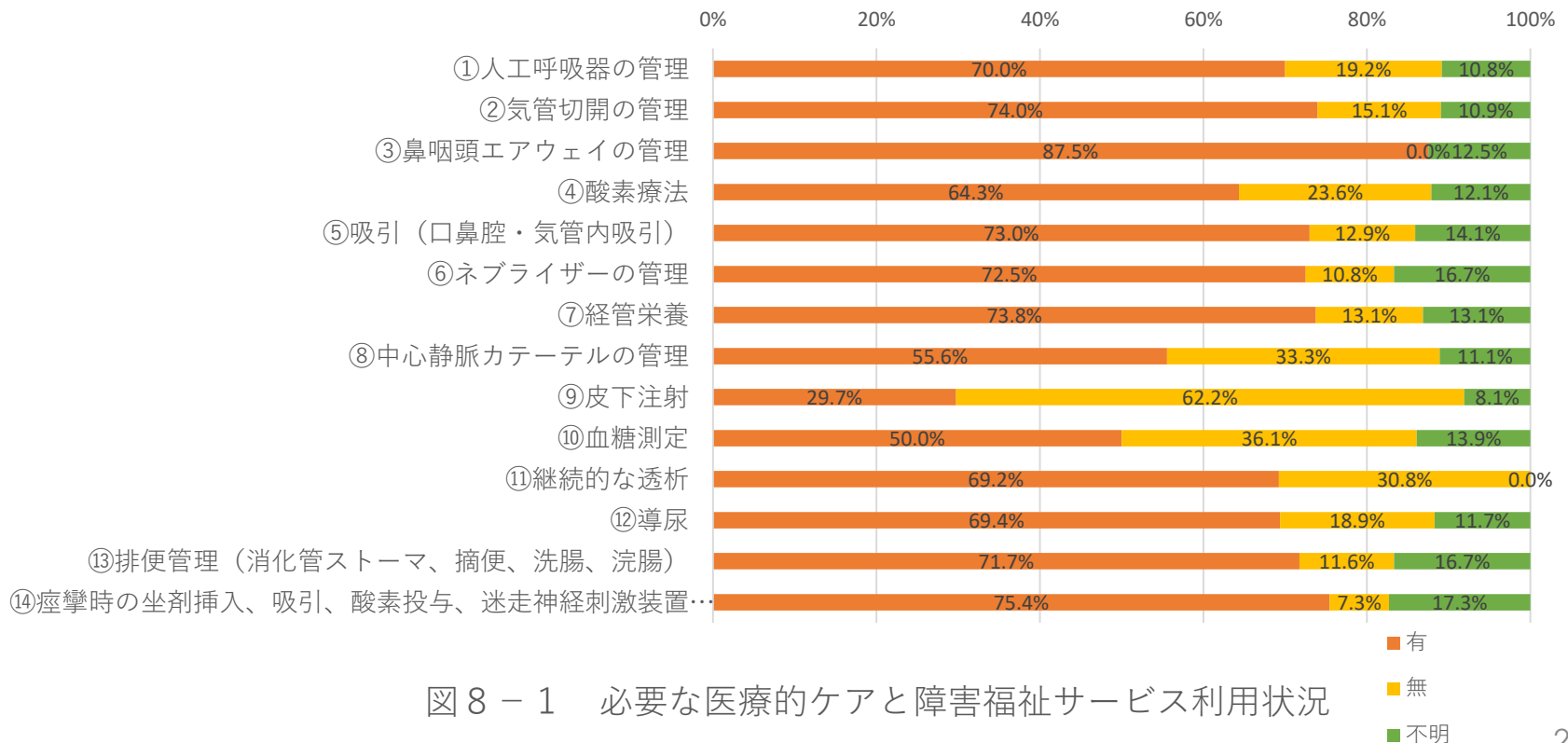


図8-1 必要な医療的ケアと障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス利用状況（児）

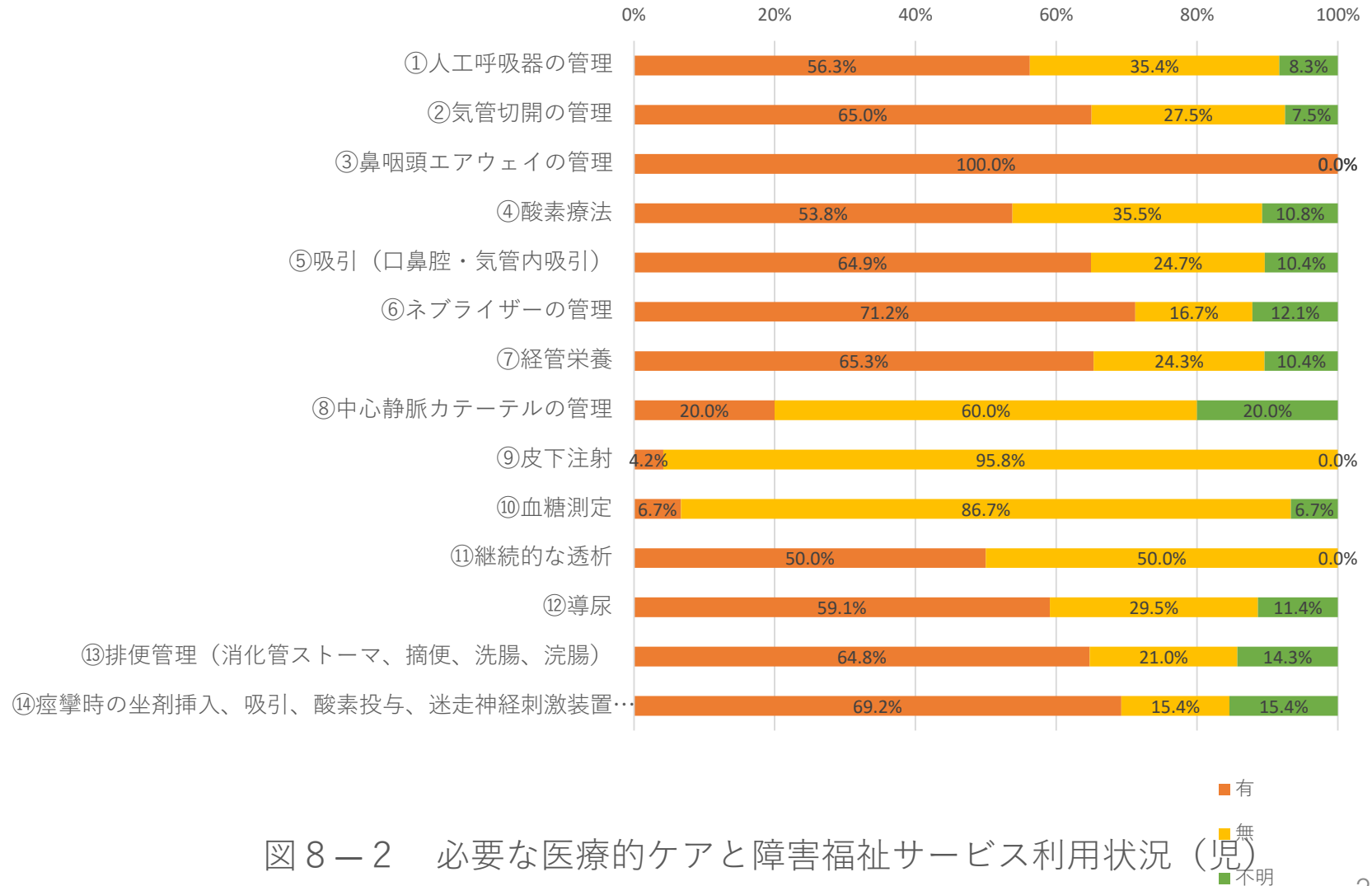


図 8-2 必要な医療的ケアと障害福祉サービス利用状況（児）

障害福祉サービス利用状況（者）

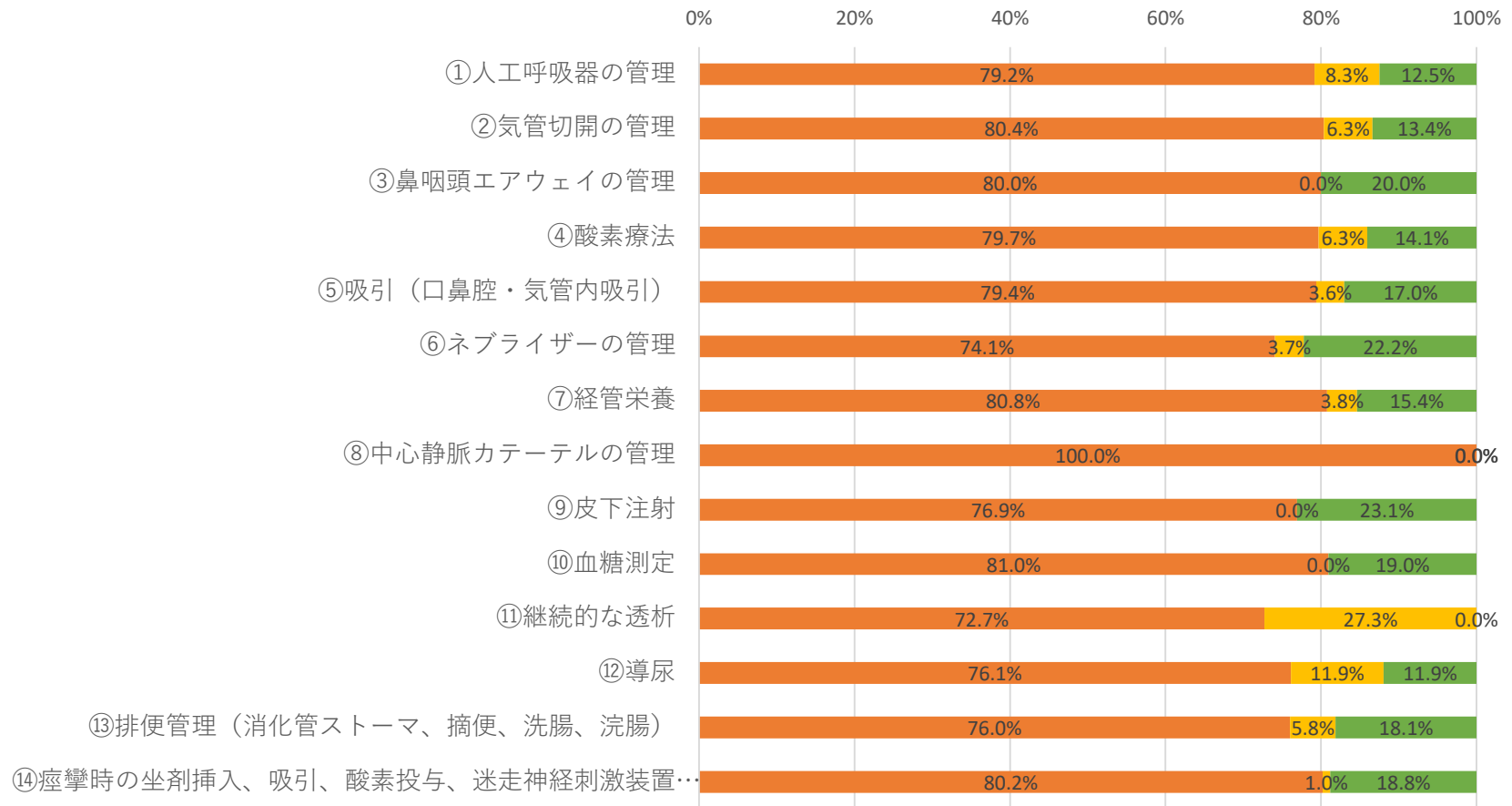


図 8-3 必要な医療的ケアと障害福祉サービス利用状況（者）

■有
■無
■不明

障害児通所支援事業所利用状況

表9 障害児通所支援事業所利用状況（人）

	有	割合	無	割合	不明	割合	計	割合
18歳未満	143	39.1%	115	31.4%	77	21.0%	335	91.5%
18・19歳	4	1.1%	20	5.5%	7	1.9%	31	8.5%
計	147	40.2%	135	36.9%	84	23.0%	366	100.0%

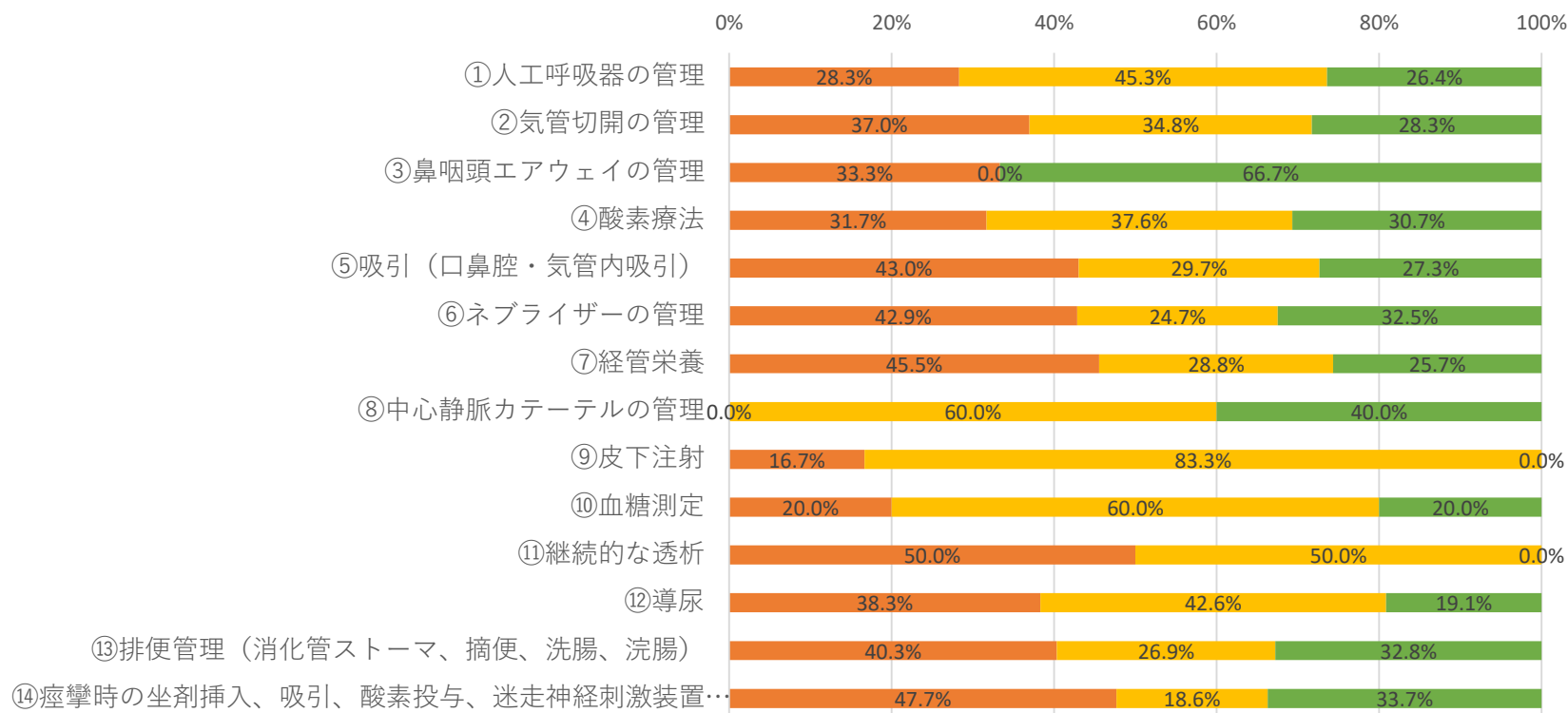


図9 必要な医療的ケアと障害児通所支援事業所利用状況（20歳未満）

市町村 サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況(児者)

表10 サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況(人)

	有	割合	無	割合	不明	割合	計	割合
児	200	25.3%	104	13.1%	31	3.9%	335	42.3%
者	341	43.1%	40	5.1%	76	9.6%	457	57.7%
計	541	68.3%	144	18.2%	107	13.5%	792	100.0%

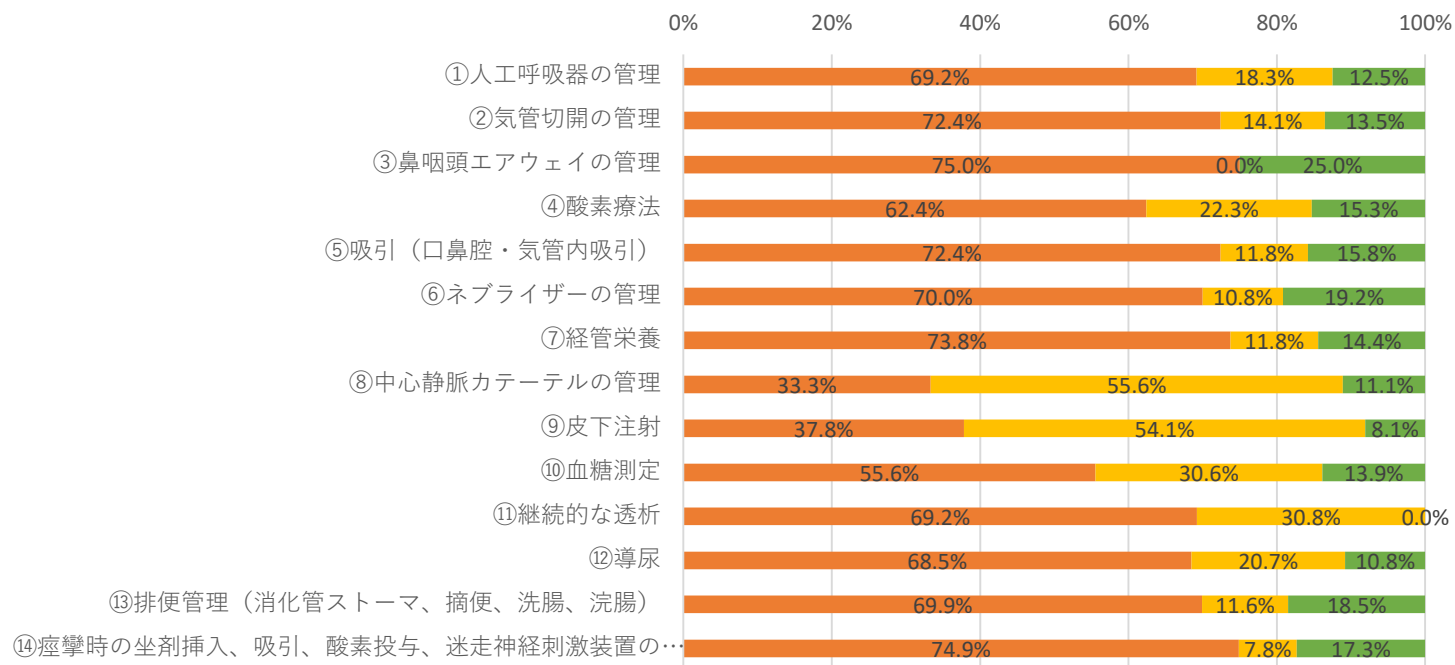


図10-1 必要な医療的ケアと
サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況

■有
■無
■不明

市町村 サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況(児)

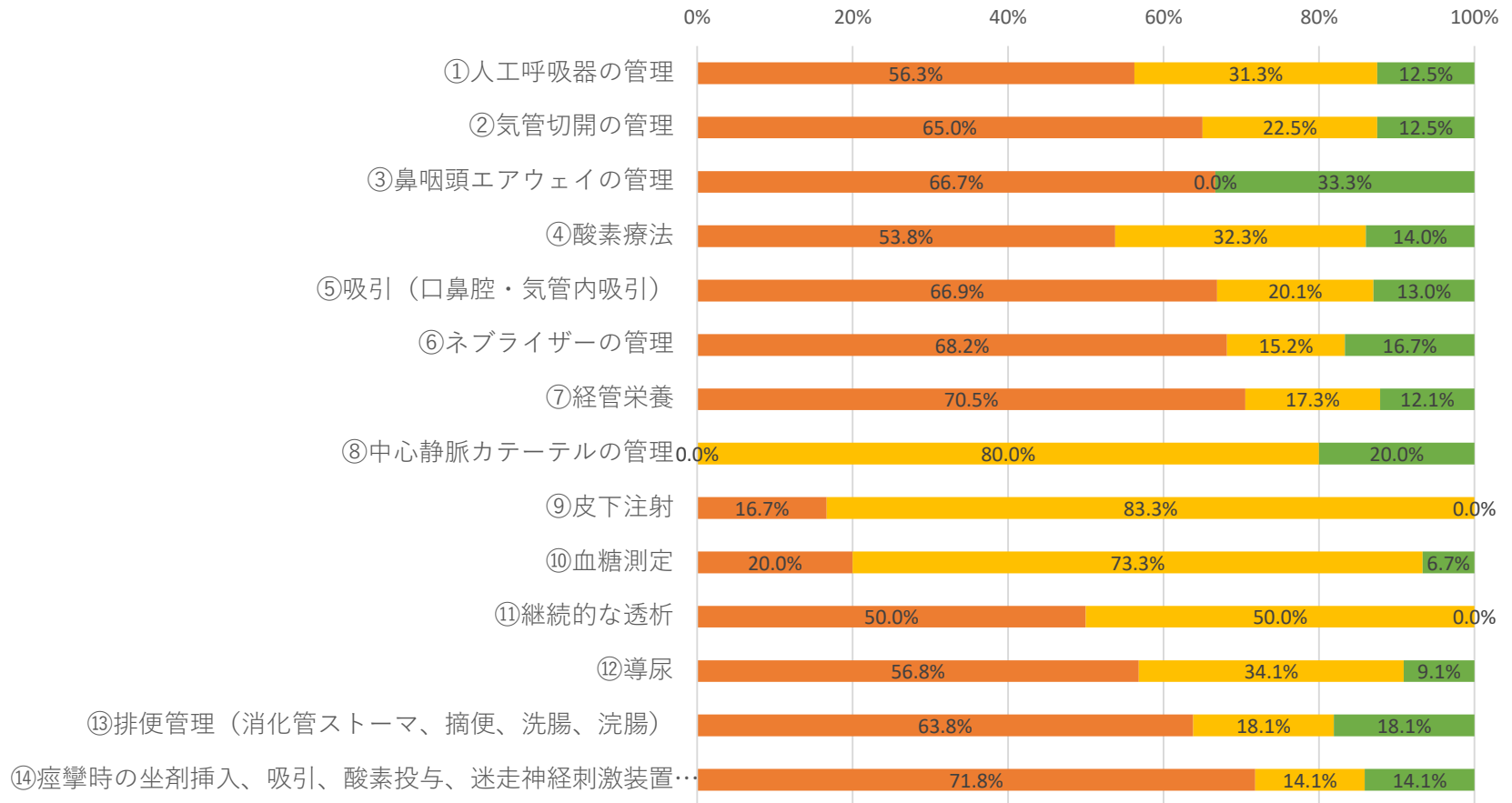


図 10-2 必要な医療的ケアと
サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況（児）

■ 有
■ 無
■ 不明

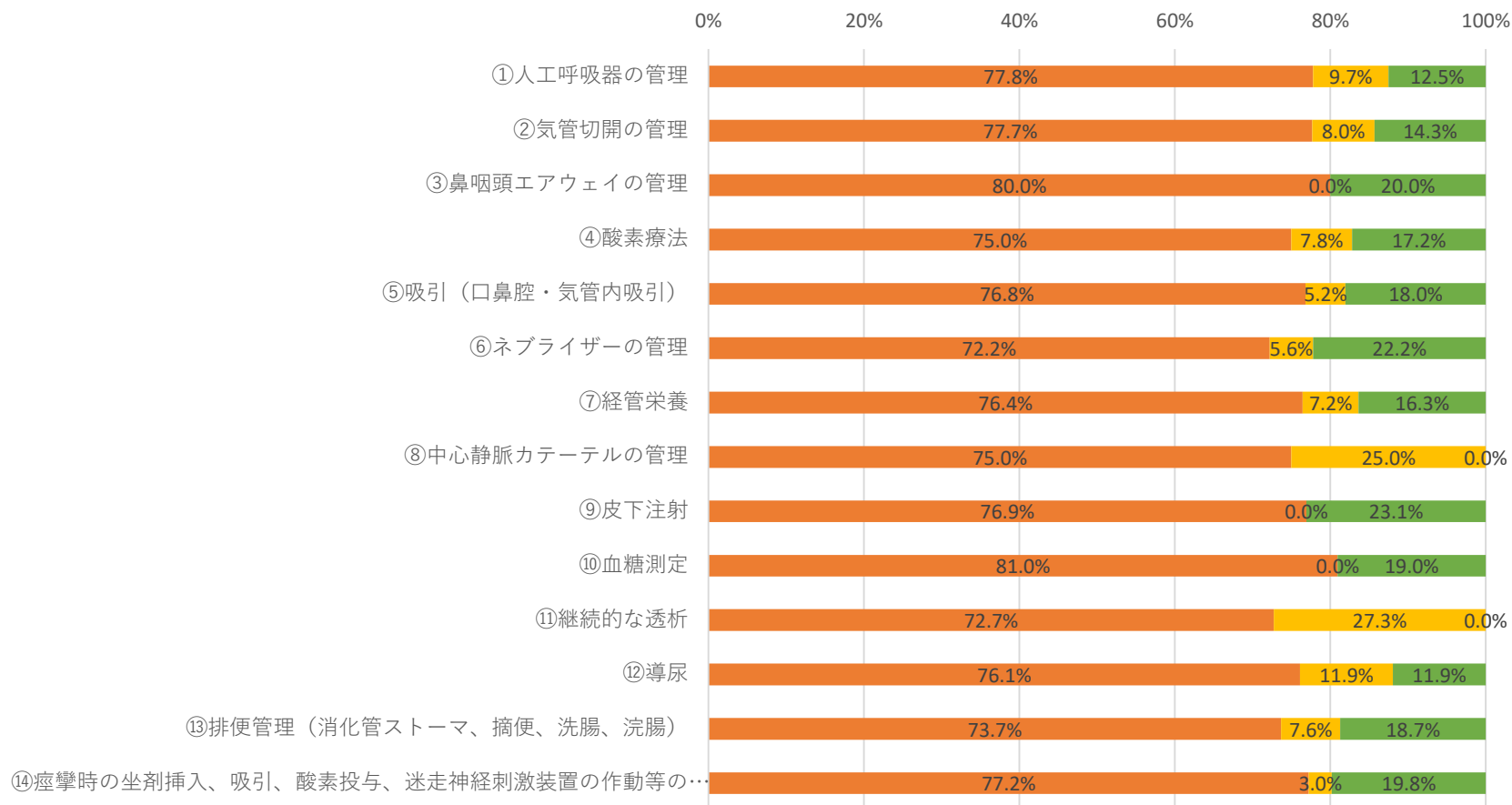


図10-3 必要な医療的ケアと
サービス等利用計画・障害児支援利用計画作成状況（者）

■ 有
■ 無
■ 不明

在宅・入所の状況（児者）

表1-1 在宅・入所の状況（人）

	在宅	割合	入所	割合	計	割合
児	311	39.3%	24	3.0%	335	42.3%
者	373	47.1%	84	10.6%	457	57.7%
計	684	86.4%	108	13.6%	792	100.0%

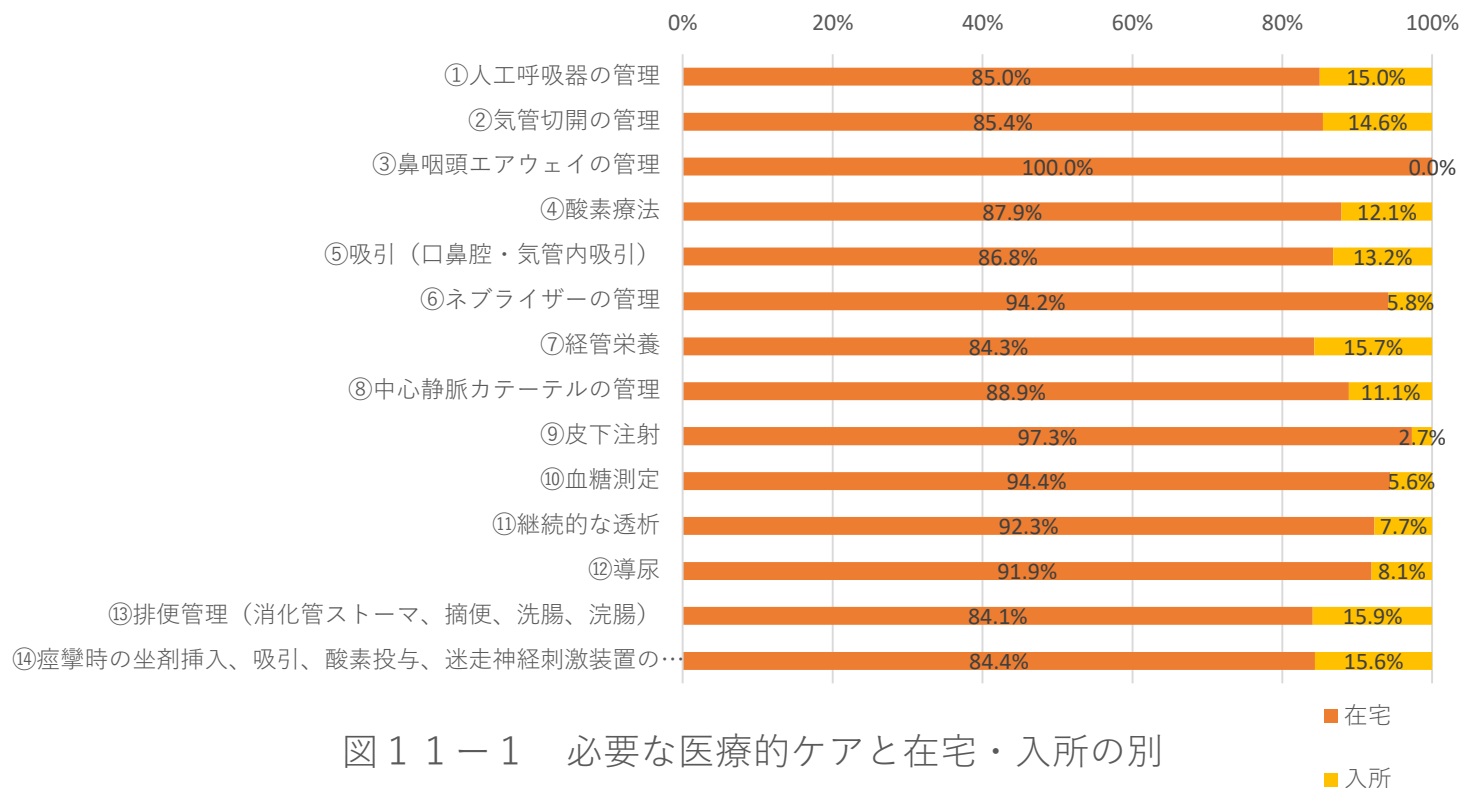


図1-1-1 必要な医療的ケアと在宅・入所の別

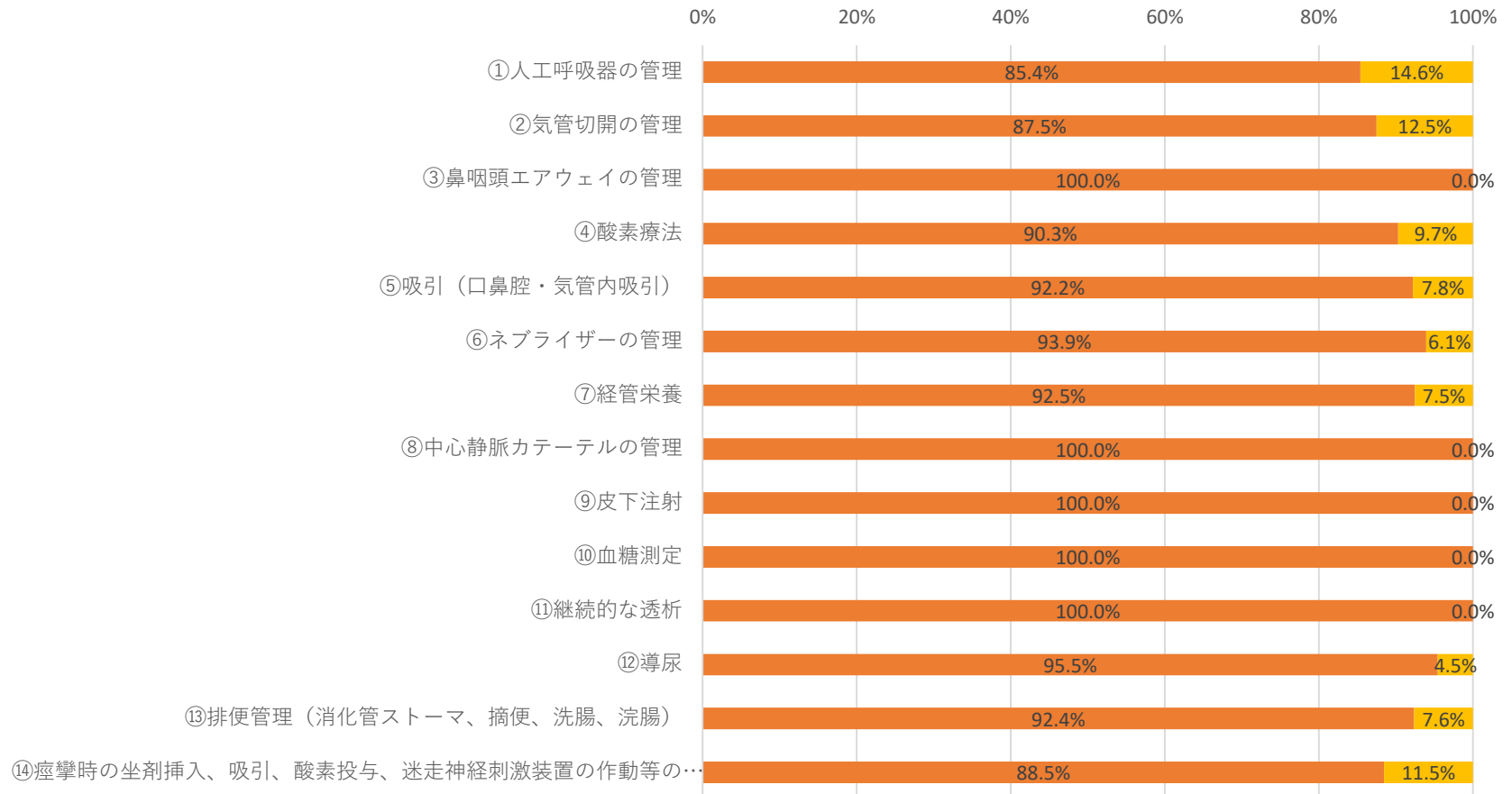


図 1 1 - 2 必要な医療的ケアと在宅・入所の別（児）

■ 在宅

■ 入所

在宅・入所の状況（者）

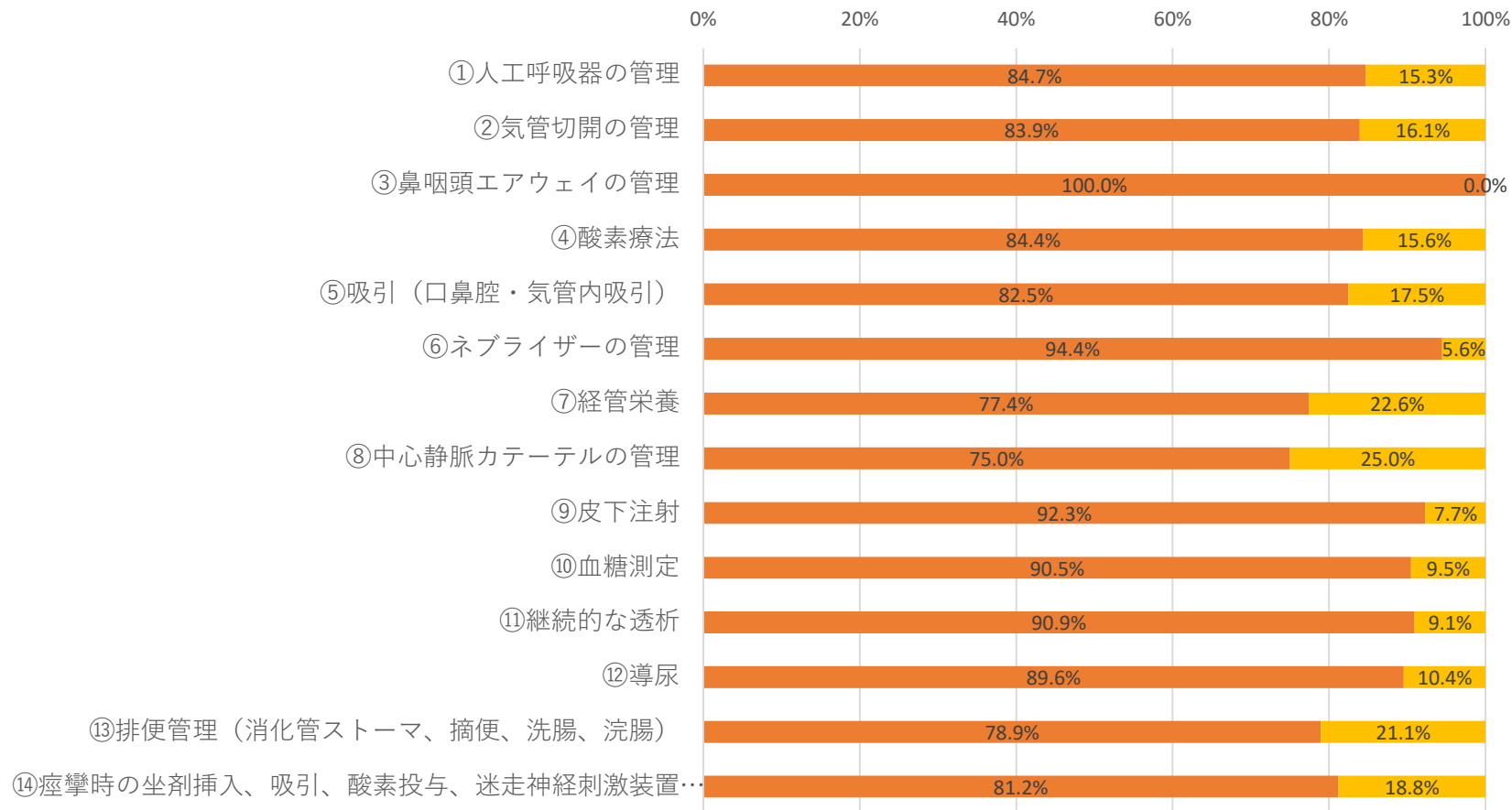


図 1 1 - 3 必要な医療的ケアと在宅・入所の別（者）

■在宅
■入所

表 1 2 災害時避難行動要支援者名簿掲載有無（人）

	有	割合	無	割合	計	割合
児	79	10.0%	256	32.3%	335	42.3%
者	148	18.7%	309	39.0%	457	57.7%
計	227	28.7%	565	71.3%	792	100.0%

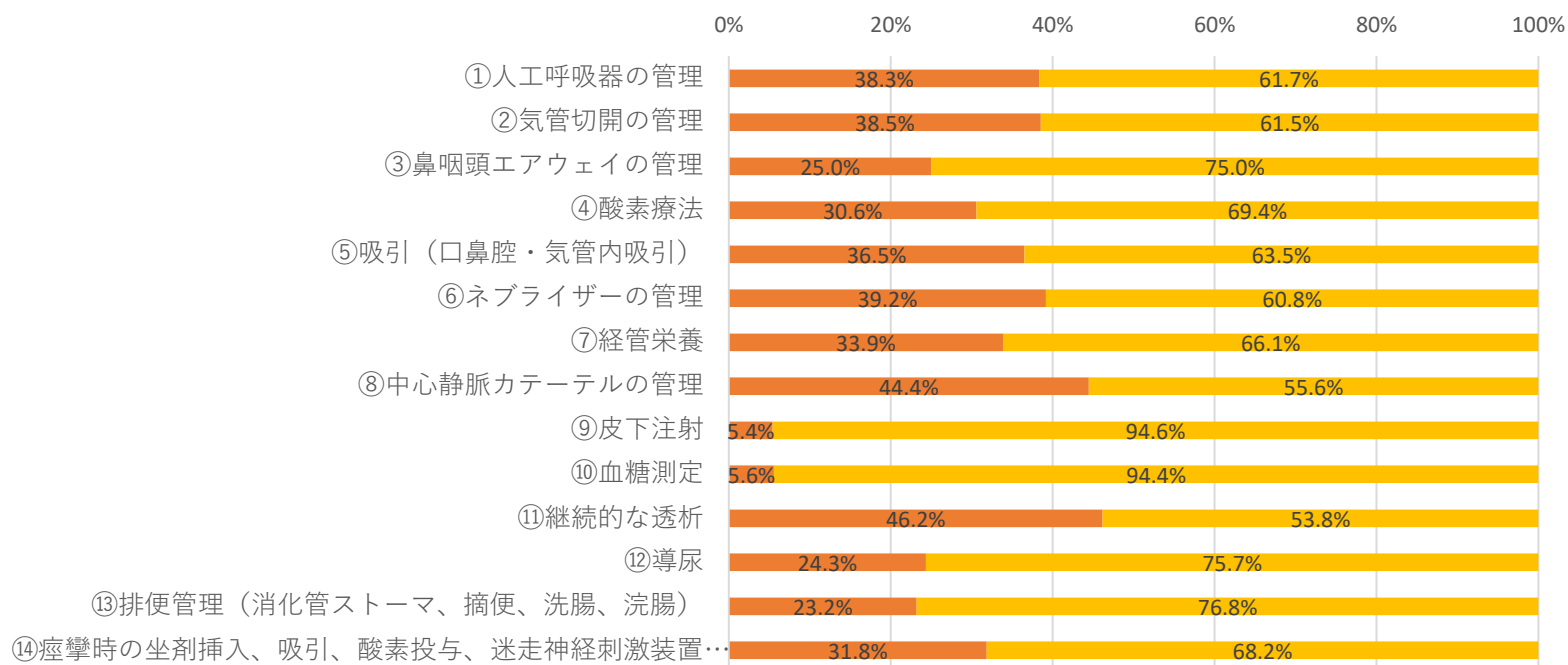


図 1 2 - 1 必要な医療的ケアと
災害時避難行動要支援者名簿の掲載状況

■ 有
■ 無

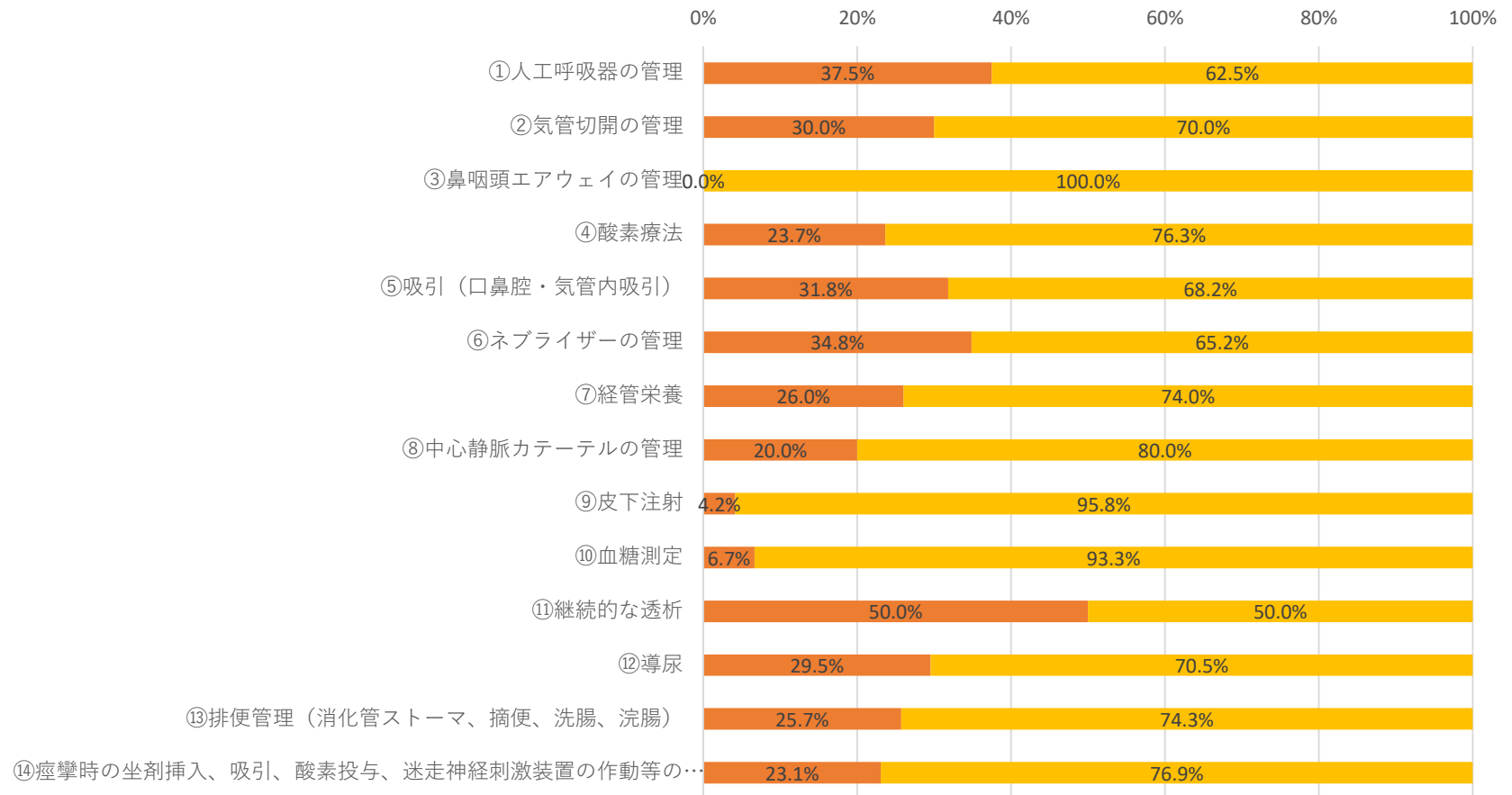


図12-2 必要な医療的ケアと
災害時避難行動要支援者名簿の掲載状況（児）

■有 ■無

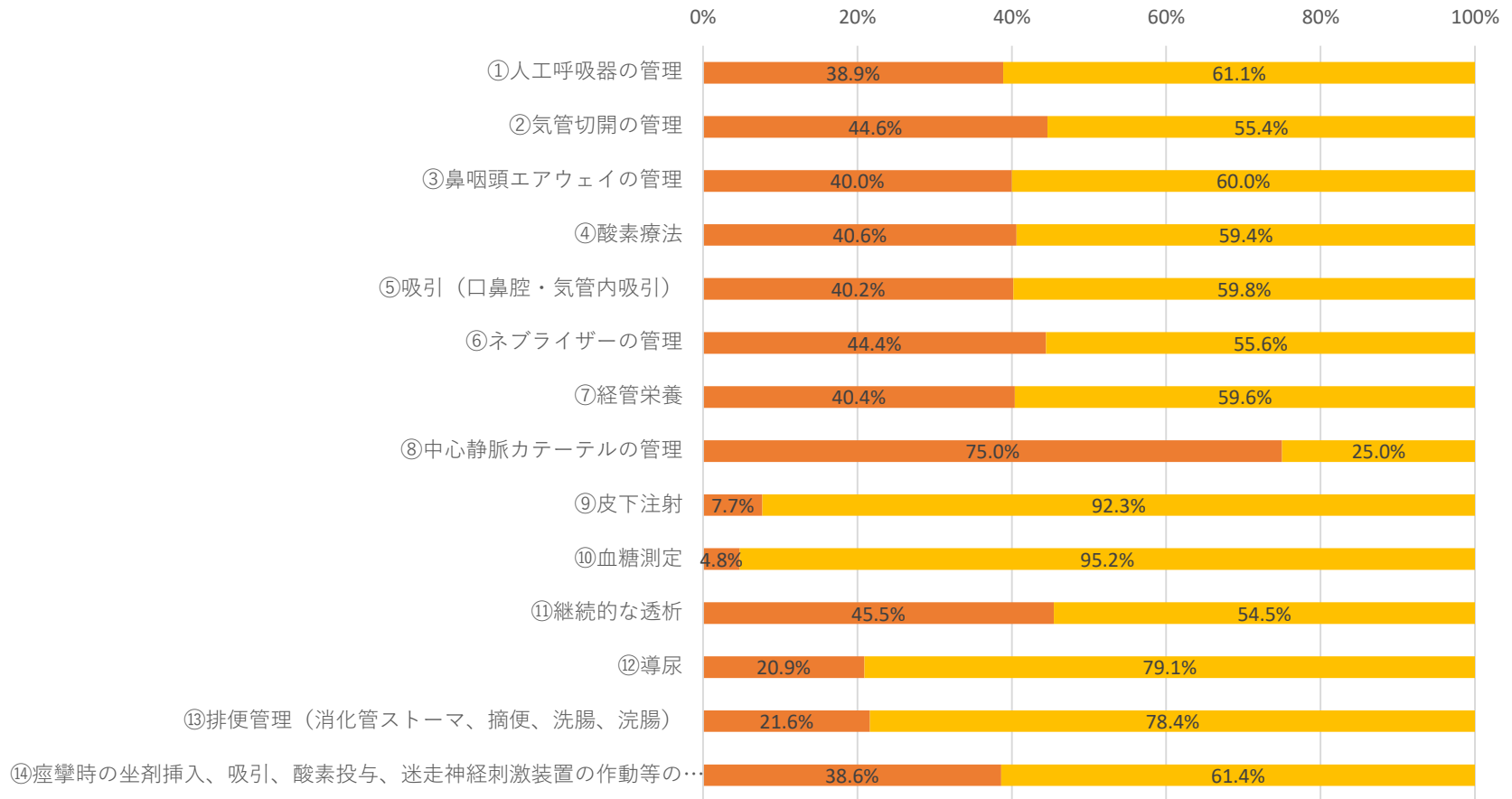


図12-3 必要な医療的ケアと
災害時避難行動要支援者名簿の掲載状況（者）

■有 ■無

表 1 3 災害時個別避難計画作成有無（人）

	有 割合		(再掲) 法定 割合		無 割合		計 割合	
児	20	2.5%	12	1.5%	315	39.8%	335	42.3%
者	22	2.8%	8	1.0%	435	54.9%	457	57.7%
計	42	5.3%	20	2.5%	750	94.7%	792	100.0%

前回調査における作成数

児：18人（5.4%）

者：10人（3.3%）

児者計：28人（4.4%）

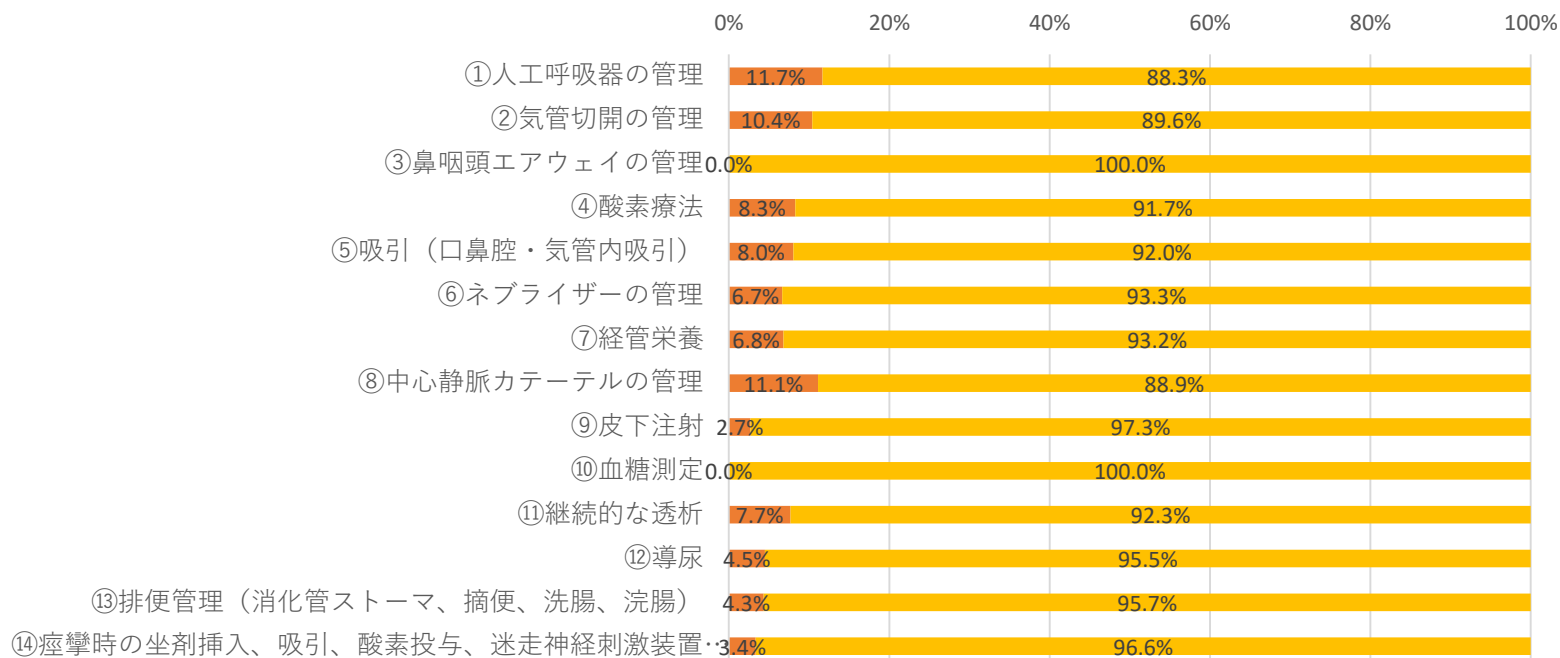


図 1 3 - 1 必要な医療的ケアと災害時個別避難計画作成状況

■有 ■無

災害時個別避難計画作成状況（児）

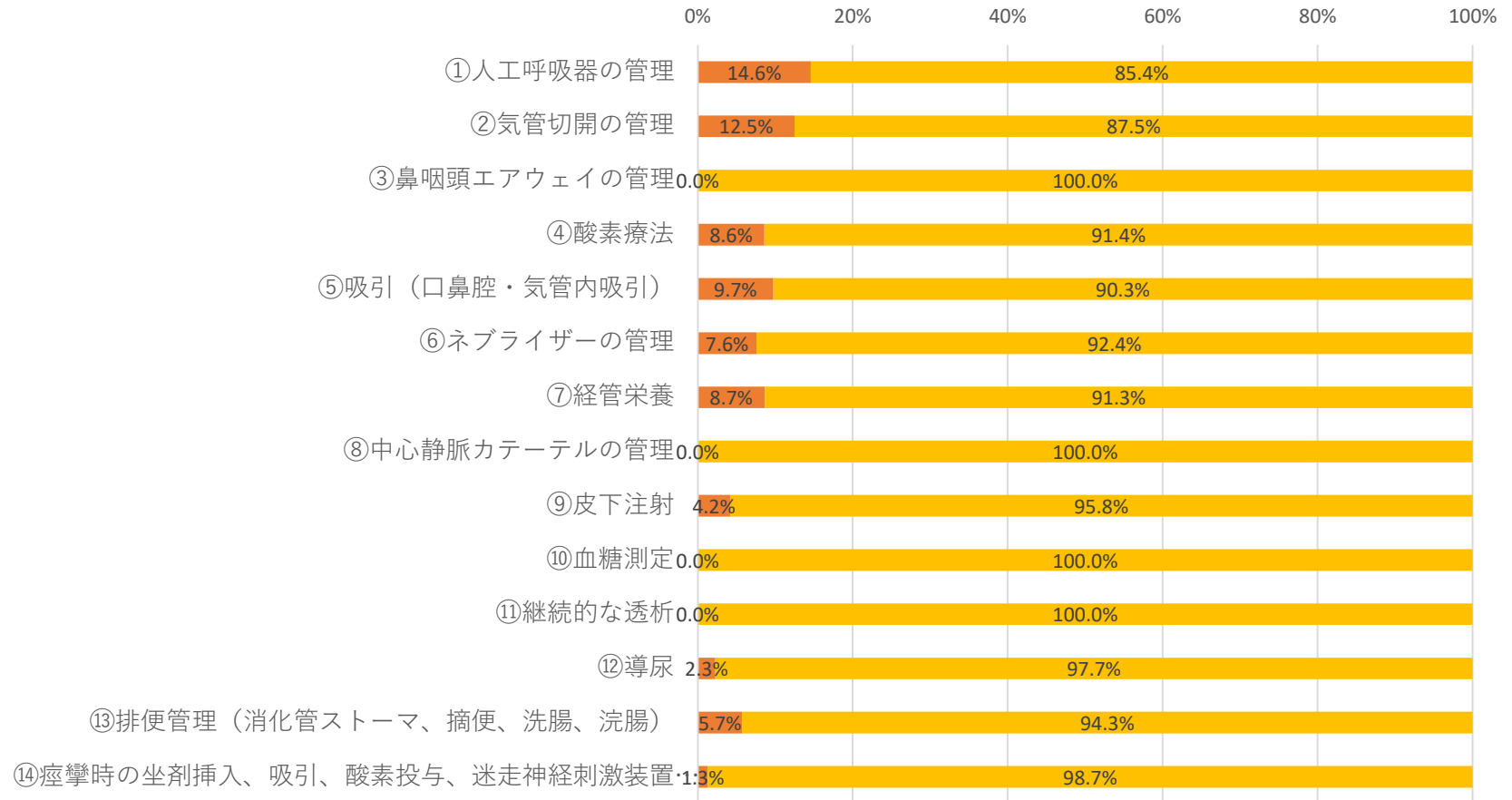


図 1 3 - 2 必要な医療的ケアと災害時個別避難計画作成状況（児）

■ 有
■ 無

災害時個別避難計画作成状況（者）

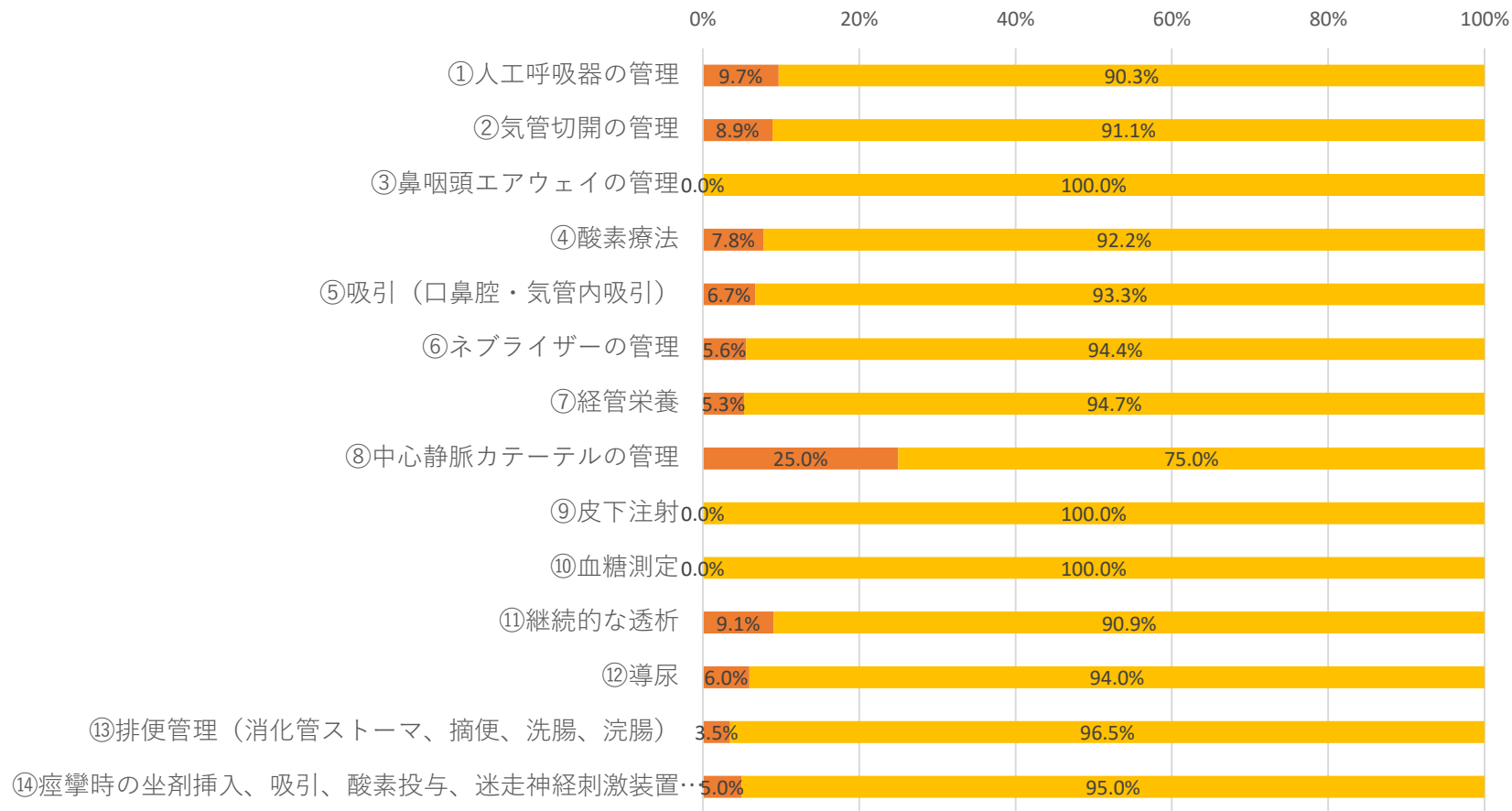


図 1 3 - 3 必要な医療的ケアと災害時個別避難計画作成状況（者）

■有

■無

医療機関 × 市町村 各調査における居住圏域別人数

表 1 4 調査対象別医療的ケア児居住圏域別人数 (人)

調査対象	仙南	仙台※	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	計
医療機関	50	146	56	10	31	65	22	401	781
市町村	23	93	28	5	18	29	9	130	335

※ 仙台市を除く仙台圏域 (塩釜・岩沼・黒川)

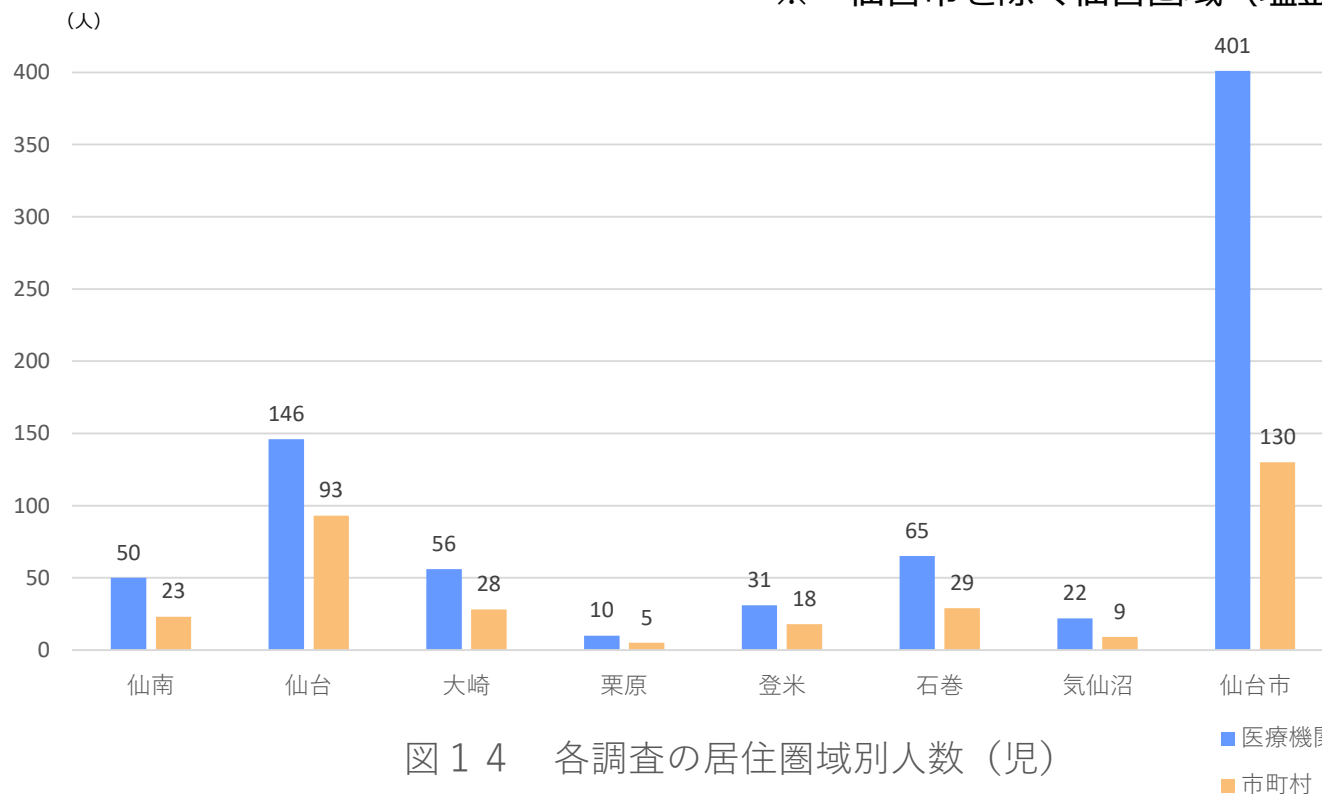


図 1 4 各調査の居住圏域別人数 (児)

各調査における年齢別人数

表 1 5 調査対象別医療的ケア児年齢別人数（人）

調査対象	年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	計
医療機関		39	44	37	36	37	33	47	41	33	45	58	46	47	53	47	59	42	37	781
市町村		15	13	22	16	23	22	18	15	11	30	21	21	17	23	15	23	19	11	335

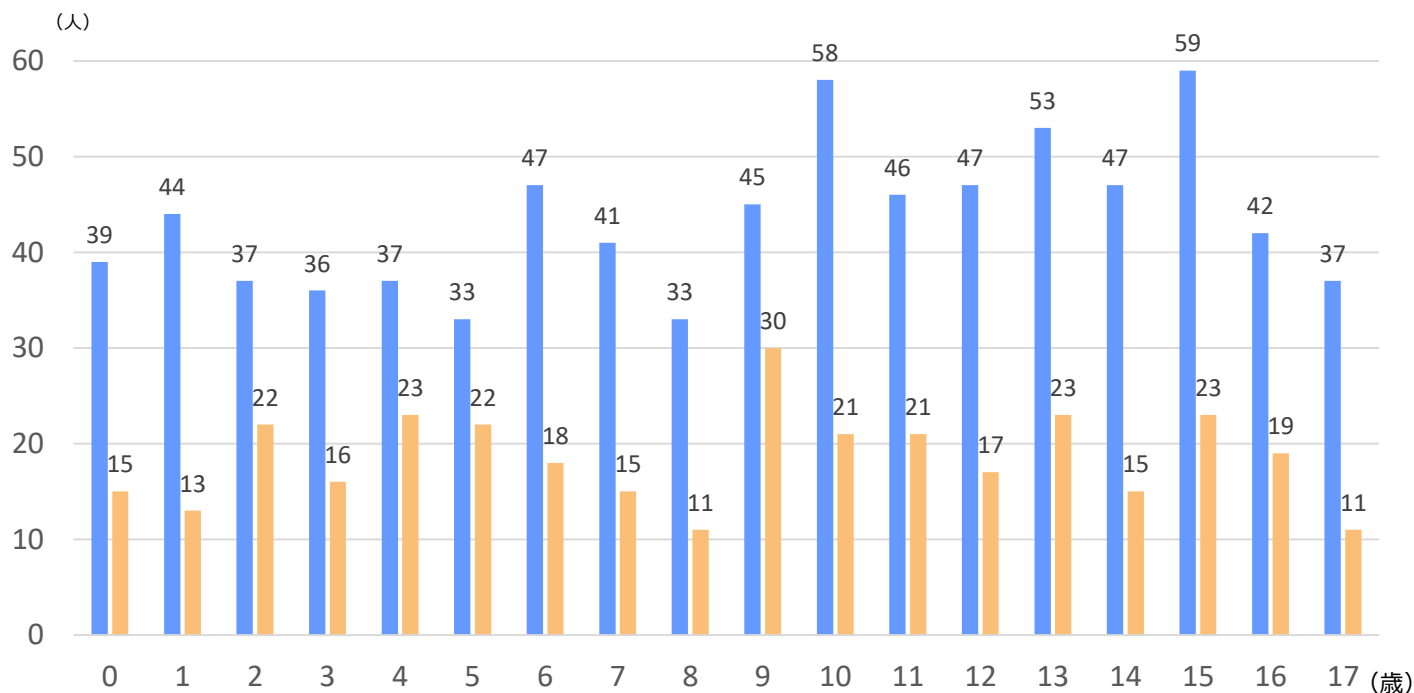


図 1 5 年齢別人数 (児)

■ 医療機関

■ 市町村

表 1 6 調査対象別必要な医療的ケア（人）

調査対象	①人工呼吸器の管理	②気管切開の管理	③鼻咽頭エアウェイの管理	④酸素療法	⑤吸引（口鼻腔・気管内吸引）	⑥ネブライザーの管理	⑦経管栄養	⑧中心静脈カテーテルの管理	⑨皮下注射	⑩血糖測定	⑪継続的な透析	⑫導尿	⑬排便管理	⑭痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
医療機関	74	83	2	264	154	126	198	7	357	124	4	75	131	81
市町村	48	80	3	93	154	66	173	5	24	15	2	44	105	78

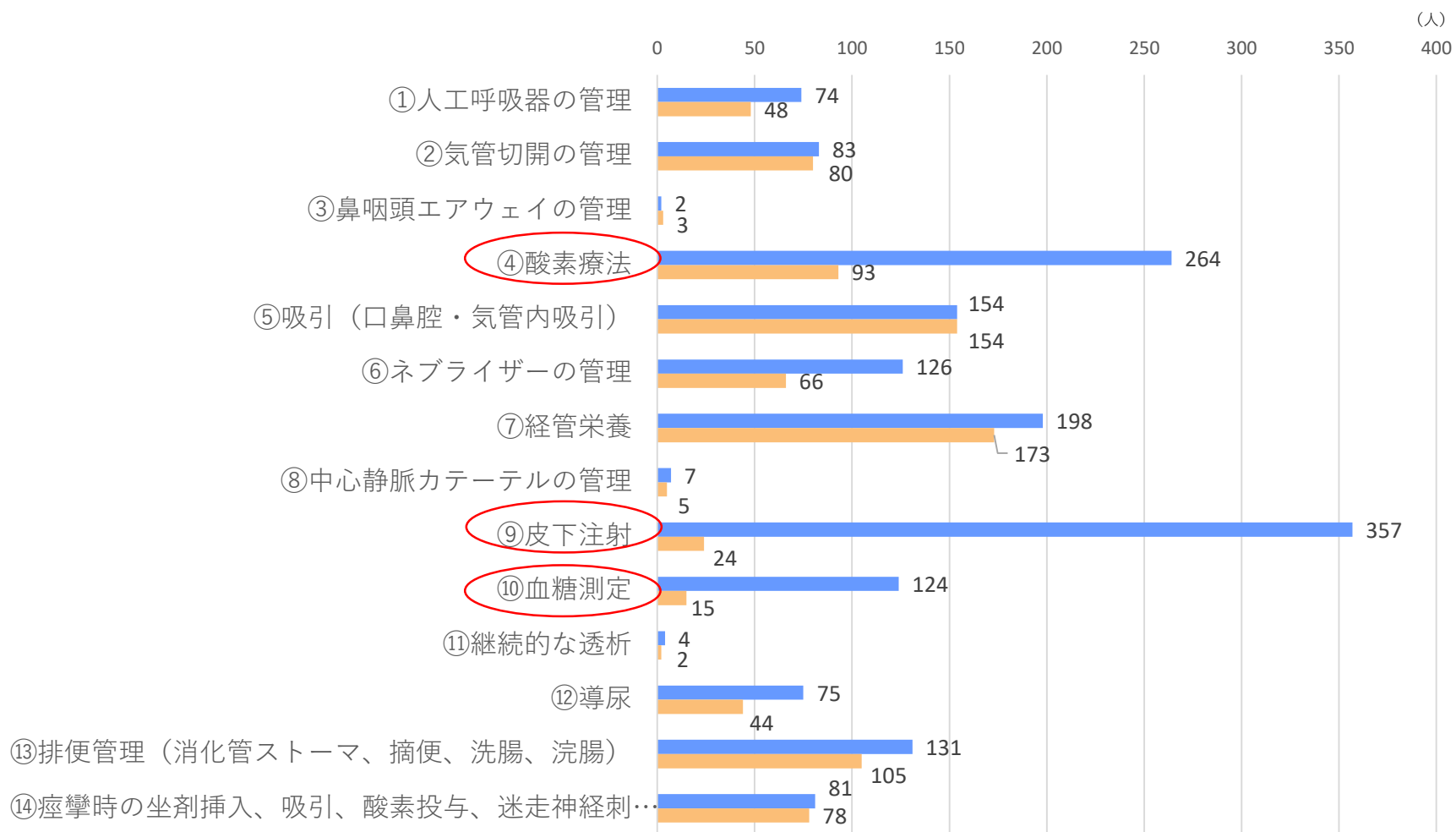


図 1 6 調査対象別必要な医療的ケア（児）

■ 医療機関

■ 市町村

調査結果からみえた現状・課題

- 医療的ケア児を診療する医療機関は、仙台圏域の小児中核医療機関に集中している。
- 市町村からの回答が少なかった医療的ケア児は、皮下注射や血糖測定等、外見では分かりにくく、福祉制度の活用も少ない医療的ケアを要する児と推測される。
- 災害時個別避難計画の作成については、人工呼吸器使用等リスクが高い医療的ケア児者の作成割合が全体平均よりも高い傾向にあるが、全体で5.3%と低い作成率である。

今後の支援体制整備の方向性

- 医療的ケア児が身近な地域で安心して医療支援を受けられるよう、各地域での診療体制整備について検討を要する。
- 必要時、支援が受けられるよう、医療機関等と市町村が医療的ケア児について情報共有を図っていく仕組みが重要である。
- 災害時、医療的ケア児者が適切に安全を確保できるよう、市町村や関係機関に対し、災害時個別避難計画の作成を働きかけていく必要がある。

今後の実態把握の考え方（案）

- 医療的ケア児者の実態に応じた支援体制整備のため、医療的ケア児者の実態把握の継続は必要。
- 医療的ケア児者の実態把握、災害時支援体制整備、支援を要する方の把握、宮城県地域医療計画の進捗・評価のため、
 - ・市町村調査は毎年
 - ・医療機関調査は3年に一度の実施はどうか。
- 市町村調査結果により医療的ケア児者数を、医療機関調査結果により医療提供体制の実態を把握する。